


第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成23年3月31日

松戸市長

住所(所在地) 松戸市高塚新田 123-2
2-2-104
団体名 クリニカルマートをひろげる会
代表者氏名 村中 真理 

平成22年4月1日付け松戸市指令第 号で交付決定のあつた松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

- (1) 活動状況報告書
- (2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

活動状況報告書

1. 事業名称

芸術による認知症予防 及び 進行抑制の為の事業と、子どもの豊かな感性を育む為の事業

2. 実施主体

■ 団 体 名：クリニカルアートをひろげる会

3. 事業の実施内容

1. 地域活動・・・受益者参加型プログラム

①作品展・展示会実施

12月10日11日12日、まつどアートライン市民フェスタ in クリスマス に参加。

伊勢丹新館9階 アートスポットまつどにて、作品展（参加型実践プログラム・高齢者向け参加者作品と、高齢者施設プログラム参加者の作品）まつどアートライン市民フェスタ in クリスマスへの来場者は総数で約500名とのこと。

②講演会活動 および ミニワークショップ（右脳を使うアナログ画体験）実施

・講演会 2011年3月5日（土）→第8回NPO・市民活動見本市参加 まつど市民活動サポートセンター 参加者 7名

・ワークショップ 2010年6月20日→聖徳大学楽習フェスタに参加 実施内容「さつまいもの量感画」 参加者数は約20名

12月10日→伊勢丹新館9階 アートスポットまつど。実施内容「さつまいもの量感画」参加者5名

③参加型実践プログラム実施

高齢者向け・・・認知症予防プログラム 又は認知症抑制プログラム（毎月第2土曜日・第3木曜日実施）

4月 参加者総数14名 5月 参加者総数15名 6月 参加者総数14名 7月 参加者総数9名

8月 参加者総数11名 9月 参加者総数15名 10月 参加者総数12名 11月 参加者総数12名

12月 参加者総数14名 1月 参加者総数13名 2月 参加者総数12名

※第3木曜日のプログラムは5月以降から開始した為、4月は行なっておりません。

※3月は東北地方太平洋沖地震の影響により、中止いたしました。

子ども向け・・・感性や情操を豊かにする右脳アート制作

6月20日 聖徳大学楽習フェスタ参加 ワークショップ 制作『梅雨のガラス絵』 スタッフ1名 参加者1名

8月4日 夏休み子どもアートワークショップ 制作『立体・かぼちゃ』 ゆうまつど スタッフ3名 参加者10名

2. 子ども団体プログラム・・・子ども団体などの依頼または交渉により、子ども団体の主催するイベントなど

に参加して行う

①東部こどもまつり

10月16日 巨大サイズの『立体・かぼちゃ』制作。制作への参加者概数、約100名程度 スタッフ3名

②東部ミニ子どもまつり

7月3日 『スイカの暑中見舞い』を制作 スタッフ2名 参加者約13名

2011年2月5日 『立体・かぼちゃ』制作 スタッフ3名 参加者約15名

3. 高齢者施設プログラム・・・介護老人保健施設や、特別養護老人ホーム、グループホーム、認知症の改善に力を入れている医療機関などの施設内において、入居者や患者を対象としたプログラムを行う。

●有料老人ホーム（常盤平）で毎月、高齢者施設内での認知症予防プログラム実施。●

4月28日	スタッフ3名	参加者11名	「満開の桜の大木（屏風仕立て）」制作（アクリル・画仙紙他使用）
5月26日	スタッフ4名	参加者13名	「音楽を描く」制作（M画用紙・オイルパステル他使用）
6月15日	スタッフ4名	参加者8名	「梅雨のガラス絵」制作（アクリル板・アクリル絵の具他使用）
7月23日	スタッフ4名	参加者8名	「スイカの暑中見舞い」制作（水彩紙・透明水彩絵具他使用）
8月20日	スタッフ4名	参加者11名	「立体・かぼちゃ（立体作品）」制作（新聞紙・和紙・澱粉糊他使用）
9月24日	スタッフ3名	参加者10名	「干物を描く アジ」制作（オイルパステル・アクリル絵具他使用）
10月13日	スタッフ3名	参加者9名	「洋梨の量感画」制作（新バフン紙・オイルパステル他使用）
11月15日	スタッフ3名	参加者9名	「青首大根のちぎり絵」制作（黄ボール紙・和紙・澱粉糊他使用）
12月17日	スタッフ4名	参加者11名	「人参のネガポジ画」制作（オイルパステル・ファーストピンテージ他）
1月21日	スタッフ3名	参加者8名	「描き初め」制作（墨・杉皮紙・レザック・透明水彩絵具他使用）
2月25日	スタッフ2名	参加者10名	「チンゲン菜の木炭画」制作（木炭紙MBM・木炭伊研No.220他使用）

※3月は東北地方太平洋沖地震の影響の為、中止いたしました。

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

① 毎月定期（第2土曜日、第3木曜日）にクリニカルアートを体験できる場を設ける事が出来た。第3木曜日の会場においては、使用料無償で提供いただけた。会場費が無償である事で、経費も抑えられる。活動が安定して継続できる見通しがついた。環境作りという意味においては、達成できた。

② 松戸市の広報を通じて参加をよびかけられた事や、助成事業である事から、多くの方から関心をよせていただく事が出来た。問い合わせも多く頂きクリニカルアートの説明をする機会を得られた。参加者には実際に体験する事で、どなたでも素晴らしい「その人ならではの作品」が出来る、クリニカルアートの良さを実感していただけた。また、参加した方からの口コミで参加を希望する方もあった。結果的に申請時に会員総数が14名だった会が、3月末では60名以上となった。松戸市内、及び隣接する市川市内においても、ある程度、知っていただくことができた。

③ かなり達成できた。

④ 将来的な課題として表記したものである為、達成を語る事は困難ではあるが、その道筋はついた。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

① 市内及び近隣において高齢者がクリニカルアートをうけられる場所がなかったが、この事業で市内での場所を確保し、提供する事ができた。

② 松戸市の広報紙を用いて参加呼びかけを行なった事で、市民からの問合せをいただき、クリニカルアートの具体的な説明を行なう事ができた。

作品展では芸術療法の名にふさわしい感性あふれる作品が展示できた。高齢者施設入居者の作品も展示し、多くの方に作品を見ていただく事ができた。作品展を行なった事で、美術系 NPO 団体より次年度から活動の連携申し出をうけ、次年度は連携活動も行なう事になった。

高齢者施設においては、回を重ねるうちに、施設側で出来あがった作品を展示するスペースを設けて下さるようになった。クリニカルアートの良さをさらに理解していただけるようになり、次年度も継続して行なう事になった。

③ 主催者スタッフや、参加児童保護者、見学していた小学校教員から、クリニカルアートのユニークなアプローチに対する評価が大きかった。また、落ち着きがないとされていた子ども達も集中して参加する姿と、出来あがった作品の素晴らしさに、子ども自身はもとより、保護者側からの驚きの声が大きかった。豊かな情操教育、感性教育に貢献できた。

④ 発達障がい児童保護者の参加があり、とてもおもしろかったので、発達障がいの子どもの為の現場を作ってほしいという要望があった。次年度以降、保護者と連携しながら前向きに検討していく事が可能になった。

5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

① ボランティア団体としての会員制市民活動団体であるので、安定した資金確保の為に多く、賛助いただける会員を増やして収入を多くし、継続した活動ができるようにしたい。

② 実際に出来あがった作品を販売して資金にしようというのが、申請時の将来展望であった。しかし、出来あがった作品を通じた豊かなコミュニケーションを生むという効果や、作った作品への愛着等、作品が手元から無くなる事には弊害もあるという認識に至った。

この為、作品展やイベント参加の際、積極的に有料のワークショップを行なって、収益をあげていく事にしたい。

③ 訪問する高齢者施設での予算化を将来展望、課題としていたが、高齢者施設側の判断で、毎月定期的にクリニカルアートを実施する事となり、参加者の募集も施設側で行なっていただけになった。

参加者の募集ポスターも施設側が制作し、入居者に参加を呼びかけていただいている。

また、参加者の作品展示の場も設置されるようになり、展示も施設職員が行なっている。

予算化はされないが、参加者から参加費をいただく事で、資金面の問題が解消された。

次年度以降も継続して定期的にクリニカルアートを実施する事になっている。

将来的には、このような活動ができる機会をいただける高齢者施設の数を増やしていきたい。

④ 会の趣旨に賛同して入会いただいた会員に、高齢者施設などで行なうセッションの手伝いをしていただくなど、会の活動にもっと参加いただく事を推進する。社会貢献活動をしたい方が入会しやすい活動を提案をする事で、会員を増やしたい。また、ワークショップや例会などで募金箱を常設して、募金寄付も積極的に行なっていきたい。

収支決算書

【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	参加費	¥ 82,000	¥ 170,500	¥ 88,500	
				¥ -	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 82,000	¥ 170,500	¥ 88,500	/
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	精算額
	資金合計額 (C) (a+b)	¥ 182,000	¥ 270,500		/

【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 報償費	¥ 76,000	¥ 70,000	¥ 6,000	
	2 消耗品費	¥ 40,000	¥ 170,533	¥ -130,533	
	3 保険料	¥ 21,560	¥ 13,440	¥ 8,120	
	4 使用料	¥ 25,000	¥ 3,000	¥ 22,000	
	5 通信費	¥ 4,440	¥ -	¥ 4,440	
	6 印刷製本費	¥ 5,000	¥ 5,740	¥ -740	
	対象となる経費合計額 (d)	¥ 172,000	¥ 262,713	¥ -90,713	/
その他経費	交通費	¥ 10,000	¥ 6,500	¥ 3,500	
	雑費	¥ -	¥ 1,287		
		¥ -	¥ -	¥ -	
		その他経費合計額 (e)	¥ 10,000	¥ 7,787	¥ 2,213
	事業費 (f) (d+e)	¥ 182,000	¥ 270,500	¥ -88,500	/

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	-
-----	---	---

団体名 クリニカルアートをひろげる会
 代表者氏名 村井 眞理



収支内訳書

【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
参加費	¥ 170,500	500円X83人 1,000円X119人 2000円X5人	
自己資金合計額	¥ 170,500		
市助成金額	¥ 100,000		
収入合計額	¥ 270,500		

【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
助成金の交付対象経費	1 報償費	¥ 70,000	/ 2000円×35回	メイン講師1回につき¥2000
	2 消耗品費	¥ 170,533	/	画材、モチーフ、事務用品代他(詳細は領収書参照)
	3 保険料	¥ 13,440	560円×24回	ボランティア行事保険
	4 使用料	¥ 3,000		アートライン参加・3区画分代金「作品展示として」
	5 通信費	¥ -		
	6 印刷製本費	¥ 5,740		コピー代
	対象となる経費合計額	¥ 262,713		
その他経費	交通費	¥ 6,500		駐車場代
	雑費	¥ 1,287		写真代
	その他経費合計額	¥ 7,787		
支出合計額	¥ 270,500			

第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成 年 月 日

松戸市長

住所(所在地)松戸市串崎南町187

団体名 松風の会

代表者氏名 源田 沙織 

平成22年4月1日付け松市市協第 号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

活動状況報告書

1. 事業名称 まつどのアートな場所マップの作成

2. 実施主体

■ 団体名： 松風の会

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I まつどのアートな場所マップの作成

日付	作業内容
4月30日	事業企画打ち合わせ
6月19日	取材（松戸・矢切方面）
6月21日	取材（八柱・小金方面）
7月3日	取材（稔台方面）
8月20日	編集者本田英郎さんの講演会（戸定邸にて）
9月10日	デザイナーと打ち合わせ（御茶ノ水にて）
12月26日	取材（東松戸方面）
2月20日	取材・デザイナーと打ち合わせ
3月7日	初稿完成、打ち合わせをし、校正作業に入る。
3月10日	デザイナーと打ち合わせ2回目の校正確認
4月9日	地震の影響で、データ完成が遅れたが、最終打ち合わせ
4月11日	マップデザイン完成。印刷会社へ入稿、4月25日ごろ印刷完成予定。

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

当初は、なるべく多くのアートスポットを紹介するためのマップ作りを目指していましたが、取材を重ねたり、編集者の意見を聞いたりするうちに、インターネットで調べるだけでは引き出せない、松戸ならではの魅力を伝えられるような内容にしたいと考えるようになりました。そこで、掲載箇所を選択し、一件一件の情報をしっかりと書き込むようにしました。

印刷物としての発行部数はさほど多くありませんが、何度も校正を重ねて作られたデザインは、元気な松戸の魅力を紹介するものとして今後広く利用されると思います。

印刷されたものを、広く配布し、イベントに活用するという事まで22年度中にはできませんでしたが、残された宿題として今後も取り組んでいきたいと考えています。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

松戸市内のアートスポットを紹介するマップを作成するにあたり、何も手元にない状態から取材を初めてマップのデータが完成、印刷へ至りました。当初は、50カ所を掲載する予定でしたが、一カ所ずつ取材を重ねお店の代表の方と対話を深めるうちに、よりテーマを絞って、詳しい情報が載せられるようにしたほうがよいのでは、という結論に至りデザインを変更しました。漠然とアートマップと考えていたテーマを音楽版とアート版に分け、今回の事業ではアート版の情報29カ所が載せられています。

5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

- ・マップを掲載店に配り、もの作りを共通の話題にして街に活力の生まれるような、協力関係を築いていけたらと考えています。
- ・また、マップに掲載したお店や、マップを手にした人から地域に根ざした情報を募り、常磐アトラインに関するイベントやネットワークの構築に活用していきます。
- ・掲載箇所や松戸市観光協会・松戸シティーガイドのみなさんと連携をとり、市内・外へ広く配布して行きたいと考えます。
- ・マップ掲載店の“人”にスポットをあててより詳しく取材し、将来的には松戸に暮らす職人さんやアーティスト、音楽家のかたを紹介する本などへも展開が可能と思います。

第5号様式



松戸市市民活動実績報告書

平成 23年 3月 8日

松戸市長

住所(所在地)松戸市古ヶ崎 1-3059-10

団体名 松戸里やま応援団 一起の会

代表者氏名 高木 喜久雄 

平成22年4月1日付け松市市協第384号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

活動状況報告書

1. 事業名称 八ヶ崎の森再生整備事業

2. 実施主体 里やま応援団 一起の会

3. 事業の実施内容

はじめに 八ヶ崎の森再生整備事業取り組みの経過

- ①H20 年末にかけて破壊された八ヶ崎の森の再生に向けて、策定した「八ヶ崎の森再生整備計画」(H21.9)に沿って、H21 年後半より伐採跡地の片付けや防災対策を進めてきた中、「市民活動助成事業」の指定を受け実施計画の検討を重ねてきた。
- ②H21.12「再生整備計画」をベースに実施方針を決定した。
第一期事業として、北東側斜面エリア(マンション側)から約 30m 幅で植樹できるように整備する。
土留め兼伐木枝木集積場を斜面に沿って 2~3 列景観にも配慮しつつ設置していき、その間に植林できるよう地ごしらえをする。
植樹エリアを囲むように周遊の「遊歩道」を設置した後植樹する。
- ③第二期事業として、一期の進捗・出来映えを確認したうえで、南東斜面地区に土留め柵兼集積場を延伸整備して植栽計画を実施する。(H23 年度中心事業)

事業の実施内容(H22.4~H23.3)

- ①土留め柵兼伐木枝木集積場の整備
 - ・4~9月前期より引き続き散乱した伐木枝木の片付け、土留め柵作りと伐木集積
 - ・9/22、9/29 里やま応援団グループおよび緑関係ボランティア団体から20名の応援を受け、土留め柵補強用防腐杭の打ち込み50本
 - ・8/11、9/22、9/29 オオスズメバチの除去
 - ・1~3 月南東斜面に延伸する土留め柵作りと伐木集積
- ②遊歩道の整備
 - ・9/22、9/29 里やま応援団グループおよび緑関係ボランティア団体から20名の応援を受け、遊歩道コース両脇に杭を打ち込み、ロープを張って場内の手入れや観察通路として設置
- ③植栽計画
 - ・4~9月土留め柵で三段に区分けした斜面を植栽エリアとし、除草・アカガシワ・クワ等実生幼木の除去と整地等の地ごしらえ
 - ・会員持込の花木・苗木の仮植え養生
 - ・9/8 植樹の樹種(山に自生する花実をつける樹木を中心)を選定し発注手続き
- ④事業への理解と協力依頼

- ・近隣住宅へ事業の理解と植樹祭参加依頼…9/10、9/15
- ・地権者へ植樹計画の説明と了承…9/10、9/24
- ・市役所(みどり花)へ近隣説明報告と植樹祭開催準備状況説明…9/10

⑤植樹イベント

- ・7/28 第1回植樹祭を10/30(土)に決定し実施計画の策定開始
- ・9/12 筑波山麓植樹イベントへ7名参加、開催要領を学習
- ・10/13 隣接住宅と近隣へ植樹祭案内チラシの配布
- ・10/27 植樹祭リハーサル、植樹の進め方・用具の確認・植樹箇所の整備等
- ・10/31(10/30 雨で順延)植樹祭、36名参加(市民24名うち地域9名)
植樹した苗木は、1m程度の幼木で添え木を施し、植樹者と樹木名入の名札付き
- ・11~3月植樹後の経過観察と水遣り・下草刈り

4. 事業成果について

(1)事業目的の達成について

- ・破壊された森の再生を機に、近隣住民や児童に身近な森を実現すべく、花木を中心に景観にも配慮した明るい森づくりをすすめている。
- ・森への関心理解を高める目的で、市民に呼びかけた「植樹祭イベント」を10/31実施し、雨模様のなか市民24名の参加をいただいたのは第一弾としては成果と考える。参加者は森の存在を身近に感じ、森でのイベントや活動参加に関心が深まった。
- また、10/30植樹祭参加予定の千葉大生30名は、大雨で10/31に日延べした植樹祭には参加できなかったが、雨のなか「破壊された森」の視察と再生保全活動の現状課題につき熱心に受講して帰った。
- ・斜面の土留め兼伐木集積場づくりや植栽エリアの整備、遊歩道の設置など、今夏の猛暑でツル性植物の繁茂に苦戦したがほぼ計画通りに進捗した。

(2)事業課題の解決について

- ・市民に親しまれ、開放的な都市樹林を目指すといっても簡単ではない。借景として離れた緑は好感されるが、近くなると落ち葉飛来・日影・高木の圧迫恐怖感など敬遠される面が多い。
- ・近隣市民に親しまれる森づくりをめざす「再生整備事業計画」はこの懸念材料払拭に配慮してすすめており、近隣説明でも概ね好感を持って受け止められたと思う。
- ・事業の達成(H23年度)と、森の開放やイベントによる市民参加型の運営に注力することで「親しまれる森づくり」が実現するわけで、今後の私達ボランティア活動の役割が問われる。

(3)今後の事業展開

- ・事業の進捗はほぼ計画通りに展開している。
- ・来期(H23年度)も引き続き市民活動助成を受けることとなったので、切れ目無く事業をすすめていくことが出来る。
- ・植樹イベントは森の再生と市民の関心関与度アップの相乗効果があり、今後も保育園児

- による植樹会、オープンフォレスト期間(5/14～5/22)の来訪者植樹など積極展開する。
- ・当初予定していなかった防腐処理杭の調達が、今期と来期にも発生することになったが、当初場内散乱の丸太を加工した木杭ですでに腐蝕したり、枯れて「倒壊する危険」が生じての対処です。

収支決算書

【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	繰越金	¥67,000	¥53,813	¥13,187	
	年会費	¥30,000	¥25,500	¥4,500	
	自己資金合計額(a)	¥97,000	¥79,313	¥17,687	
市	助成金(b)	¥100,000	¥100,000	¥0	精算額
資金合計額(a)+(b)		¥197,000	¥179,313	¥17,687	

【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
	1. 遊歩道及び地ごしらえ杭、ロープ	¥40,000	¥100,055	¥-60,055	
	2. 花、苗木および肥料	¥100,000	¥24,780	¥75,220	
	3. 植樹イベント費用	¥30,000	¥15,876	¥14,124	
		対象となる経費合計額(d)	¥170,000	¥140,711	¥19,719
その他	ボランティア保険	¥12,000	¥10,800	¥1,200	
	器具賃貸料	¥15,000	¥5,000	¥10,000	
	安全帽	¥0	¥9,570	¥-9,570	
	消耗品費	¥0	¥13,232	¥-13,232	
	その他経費合計額(e)	¥27,000	¥38,602	¥-2,032	
事業費(f)(d+e)		¥197,000	¥179,313	¥17,687	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額 ¥ 0

団体名 松戸里やま応援団 一起の会

代表者氏名 高木 喜久雄



収支内訳書

【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
繰越金	¥53,813		
年会費	¥25,500		会員会費
自己資金合計額(a)	¥79,313		
市助成金額	¥100,000		
収入合計額	¥179,313		

【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)
1. 遊歩道及び地ごしらえ杭、ロープ	¥100,055	¥32,550	1-① 防腐杭 600円 * 30本 * 消費税 650円 * 20本 * 消費税
		¥29,400	1-② 防腐杭 280円 * 100本 * 消費税
		¥6,562	1-③ 防腐杭 600円 * 5本 * 消費税 650円 * 5本 * 消費税
		¥4,440	1-④ ロープ 1,480円 * 3
		¥4,658	1-⑤ ロープ 1,980円 * 2 ドリル刃 698円 * 1
		¥8,585	1-⑥ 防腐杭 505円 * 17本
		¥13,860	1-⑦ 防腐杭 528円 * 25本 * 消費税
2. 花、苗木および肥料	¥24,780		2 樹木代金
3. 植樹イベント費用	¥15,876	¥200	3-② コピー代 10円 * 20枚
		¥746	3-③ おみやげ植木用赤玉土 248円 * 1 培養土 498円 * 1
		¥1,524	おみやげ植木用ポット 399円 * 2個 3-④ ラベル 598円 袋 128円
		¥256	3-⑤ ペーパーカップ 30個
		¥3,250	3-⑥ チラシ カラーコピー代
		¥348	3-⑦ 蚊取り線香
		¥256	3-⑧ 写真プリント代
		¥2,730	3-⑨ 飲み物代
		¥370	3-⑩ 軍手
		¥370	3-⑪ 軍手
		¥4,536	3-⑫ 雀蜂殺虫剤 キンチョール 498円 * 2 アース 1180円 * 3
		¥1,290	3-⑬ 飲み物代
対象となる経費合計額	¥140,711		
その他経費	ボランティア保険	¥10,800	600円 * 18人
	器具賃貸料	¥5,000	
	安全帽	¥9,570	1,595円 * 6個
	消耗品費	¥13,232	
	その他経費合計額	¥38,602	
支出合計額	¥179,313		

第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成 23年 3月 28日

松戸市長殿

住所(所在地) 新松戸 7-221-D-517

団体名 バリアフリー



民会議

代表者氏名

元山 幹雄



平成22年4月1日付け松市市協第381号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

○ 収支内訳書

・・・別紙1

○ 領収書等

・・・別紙2

活動状況報告書

1. 事業名称 バリア・バリアフリー体験教室・まち探検推進事業 (part II)
2. 実施主体
 ■ 団体名: バリアフリーまつど市民会議
3. 事業の実施内容
 ※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I 『バリア・バリアフリー体験教室』実施 (バリアフリー啓発活動として)

日付	作業内容
7月26日	五香こども広場 ミニ体験教室を開催。(体験者 32名)
10月2日～3日	「松戸まつり」に体験教室出展 (体験者 340名)
10月17日	小金社協「ふれあい広場」に体験教室出展 (体験者 70名)

II 『馬橋地区まち探検〈バリア・バリアフリーウォッチング〉』実施

日付	作業内容
4月～6月	「喜楽家」との企画打ち合わせ及び障害当事者からの聞き取り調査
6月1日	日大理工学部交通工学科交通デザイン科との企画打ち合わせ会議
7月6日	市民参加による「馬橋地区まち探検プロジェクト」を立ち上げる
7月10日	「レッツ体験」受け入れマッチングの会に出席 (3名を受け入れ)
8月23日～24日	「馬橋地区バリア・バリアフリーウォッチング」&ワークショップを実施 23日《コース》 ①馬橋市民センター～JR馬橋駅 ②市民センター、支所、馬橋駅の多目的トイレ 《参加者》 34名 24日《コース》 ①JR馬橋駅東口～6号線八ヶ崎交差点及びライフ ②新松戸駅、パオ、商業施設の多目的トイレ 《参加者》 37名 *9月に関係者に概要を報告・12月に日大交通工学科学術報告会開催

III 『やさしさいっぱいみんなのまち』アンケート実施

7月15日～	教育現場 (市内20小学校) に依頼～回収＝意見交換会で報告
11月24日～	福祉関係者 (40団体及び個人) に依頼～回収＝意見交換会で報告

IV 意見交換会『市民の願い・バリアフリーのまちづくりの課題は何か?』(リーダー養成)

1月11日、2月1日	企画詳細打ち合わせ会議及び案内状・チラシの送付
2月19日	意見交換会実施 《参加者》 42名

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

事業計画どおりに実施、当初の目標を達成できた。

- ・ 体験教室は、これまで延べ体験者数が2,000名を超え、リピーターも多く、この活動がある程度市民に浸透してきたものと思われる。
- ・ 馬橋地区まち探検は、レッツ体験の中学生をはじめ高校生、大学生の参加者も多く、域住民の参加も多数あり、様々な立場でのウォッチングができた。また、今回は「喜楽家」と連携して電動車いす利用者の視点に立ったウォッチングを実施し、障害当事者の移動には欠かせない多目的トイレにも焦点を当てたチェックも行った。
- ・ 『やさしさいっぱいみんなのまち』アンケートは、教育現場や福祉関係者の声が多数集まり、内容の充実のための改定や今後の展開の参考になった。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

設定した事業課題は、一定の成果を得られたものと考えられる。

底辺の拡大は、徐々に浸透してきていることが実感できたが、会員数の拡大や活動資金面では今年も課題が残った。

5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

この活動の視野を広げ充実させるため、先進事例や他所のバリアフリーの実態を学び、シンポジウムなどを開き定着化を図ることと質を高めていきたい。

収支決算書

【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	会費	¥ 45,000	¥ 35,913	¥ -9,087	
				¥ -	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 45,000	¥ 35,913	¥ -9,087	/
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	精算額
	資金合計額 (C) (a+b)	¥ 145,000	¥ 135,913		/

【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 印刷費	¥ 20,000	¥ 7,770	¥ 12,230	
	2 報償費	¥ 15,000	¥ 19,420	¥ -4,420	
	3 会場使用料	¥ 24,000	¥ 26,240	¥ -2,240	
	4 消耗品費	¥ 40,000	¥ 44,041	¥ 4,041	
	5 通信費	¥ 20,000	¥ 14,860	¥ 5,140	
	6 保険料	¥ 9,000	¥ 8,000	¥ 1,000	
		対象となる経費合計額 (d)	¥ 128,000	¥ 120,331	¥ 7,669
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 5,000	¥ 15,582	¥ -10,582	
	会員外交通費	¥ 12,000	¥ -	¥12,000	
		¥ -		¥ -	
	その他経費合計額 (e)	¥ 17,000	¥ 15,582	¥ 1,418	/
	事業費 (f) (d+e)	¥ 145,000	¥ 135,913	¥ 9,087	/

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	0	-
-----	---	---	---

団体名 バリアフリーまつど市民会議
 代表者氏名 元山 幹雄



収支内訳書

【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
会費	¥ 35,913		会員会費
自己資金合計額	¥ 35,913		
市助成金額	¥ 100,000		
収入合計額	¥ 135,913		

【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	1 印刷費	¥ 7,770	コピー代
	2 報償費	¥ 19,420	技術料（日大交通工学科）15,530 ゲストスピーカー謝礼
	3 会場使用料	¥ 26,240	松戸まつり×10 市民会館×2 フロント 小屋×10 馬橋市民センター×2 運搬 費など
	4 消耗品費	¥ 44,041	触地図、UD材料、文具、用紙、インク 代、他
	5 通信費	¥ 14,860	アンケート調査、案内状など郵送費
	6 保険料	¥ 8,000	行事保険
	対象となる経費合計額	¥ 120,331	
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 15,582	松戸まつり、馬橋ウォッチング、 ボランティア見本市他
	会員外交通費	¥ -	
	その他経費合計額	¥ 15,582	
支出合計額	¥ 135,913		

松戸市市民活動実績報告書

平成23年 3月 28日

長

住所 松戸市常盤平 2-9-長谷川ビル 301

団体名 NPO 法人子どもっとまつど

理事長
代表者氏名 渡辺洋子



平成22年4月1日付け松市市協第385号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

○ 収支内訳書

・・・別紙1

○ 領収書等

・・・別紙2

活動状況報告書

1 事業名称

「手と手で話そう」

2 実施主体

■ 団 体 名：NPO 法人子どもとまつど

3. 事業の実施内容

I 「手と手で話そう」ワークショップの実施に向けて

日付	作業内容
3月23日	デフパペットシアター・ひとみ代表の善岡氏、制作の新島氏と打ち合わせ。
4月28日	市の広報掲載依頼（6月15日号）
4月30日	チラシの企画、作成、印刷
5月11日	事業紹介用模造紙作成
5月14日～20日	チラシのPR活動、ミニコミ誌への掲載依頼等
6月1日～10日	開催会場の近隣小、中学校に広報の依頼
7月9日	実施前準備
7月11日	ワークショップ「手と手ではなそう」を実施。ふれあい22。講師デフパペットシアター・ひとみ善岡氏。参加者22人（関係者及びスタッフ9人）

II 「夏休み手話教室」の実施に向けて

日付	作業内容
5月29日	松戸市ろうあ協会手話対策部吉田氏、笹塚氏、デフパペットシアター・ひとみ制作の新島氏と打ち合わせ
6月30日	松戸市ろうあ協会吉田氏、関口氏、（手話通訳、宮崎氏）と打ち合わせ
7月8日	チラシの企画、作成、印刷
7月20日	松戸市にチラシの配布依頼
8月19日	「夏休み手話教室①」実施。ふれあい22。講師ろうあ協会関内氏ほか。（手話通訳、宮崎氏）参加者6人（スタッフ4人）
8月26日	「夏休み手話教室②」実施。ふれあい22。講師ろうあ協会関内氏ほか。（手話通訳、宮崎氏）参加者6人（スタッフ3人）
8月26日	ふれあい22において夏休み手話教室のふりかえりの会をろうあ協会手話対策部吉田氏、関内氏ほかと（手話通訳、宮崎氏）とおこう。

Ⅲ「手話で唄おう」発表にむけて

日付	作業内容
9月12日	発表に向けての練習（青少年会館）子ども6人、大人1人参加
10月3日	発表に向けての練習（青少年会館）子ども5人、大人1人参加
10月10日	発表に向けての練習/伴奏者との音合わせ（市民劇場）子ども6人、大人2人参加
10月17日	「手話で唄おう」を発表。「あそぼう・ふれあおう・つどいの広場」青少年会館（松戸子どもの文化連絡会主催）子ども6人、大人4人参加（来場者250人）
11月14日	発表に向けての練習（柿の木台公園体育館）子ども7人、大人2人参加
11月21日	発表に向けての練習（柿の木台公園体育館）子ども8人、大人3人参加
11月27日	発表に向けての練習（スタッフの自宅）子ども2人、大人1人参加
12月12日	「手話で唄おう」を発表。「おやこの広場・るーぷるのクリスマス会」柿ノ木代公園体育館（NPO法人子どもっとまつど主催）子ども8人、大人4人参加（来場者160人）
12月20日	「手話で唄おう」を発表。「クリスマスコンサート」ふれあい22（視覚障害者個人主催）子ども7人、大人2人、（来場者120人）
1月30日	発表に向けての練習（柿の木台公園体育館）子ども3人、大人2人参加
2月6日	発表に向けての練習（柿の木台公園体育館）子ども4人、大人1人参加
2月13日	発表に向けての練習/伴奏者との音合わせ（柿の木台公園体育館）子ども7人、大人4人参加
2月27日	発表に向けての練習（柿の木台公園体育館）子ども8人、大人3人参加
3月5日	「手話で唄おう」を発表。「まつど市民活動見本市」市民活動サポートセンター（まつど市民活動見本市実行委員会主催）子ども5人、大人2人参加（来場者80人）

●「手話で唄おう」の発表の準備及び当日に向けて延べ子ども82人、大人32人の参加があった。

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

「手と手で話そう」のワークショップでは、表現者であり聴覚障がい者でもある講師から、音のない世界の中で「思いを伝え受け取る」ためには、相手の動きや表情をよく見ることが大切であることを学んだ。

聴覚障がい者を講師とした「夏休み手話教室」では、コミュニケーションの手段は「手話」だけではないことや聴覚障がい者の生活（困ったこと）を学んだ。

講座に参加した子どもたち自らが「耳の聞こえない人と話をしたい」という思いにつながり、歌をとおして手話を覚える活動を始めた。

ワークショップ、手話教室への参加者が少なかったが聴覚障がい者との関係の扉となった大きな事業であった。

また、子どもと障がい者との架け橋となり、広がり期待できる事業であった。

終了後、松戸市ろうあ協会とのふりかえりの会を行ない、子どもを対象とした講座の意義を共有するとともに、今後の活動への展望が開ける実りある話し合いが出来た。

(2) 事業課題の解決について

参加者が学んだことを「手話で唄う」という表現のカタチにして、市内4か所のイベント会場で発表した。

発表では聴覚障がい者への理解を深めるためのメッセージを残すよう心がけた。

来場者から「あなたの話を聞いて耳の聞こえない人の気持ちがよくわかった。涙が出そうになった。感動した」と声をかけられた。

子ども5人でスタートした会への参加者が発表をするごとに増えていき現在9人で活動している。また、親の支援もあり今後の活動へもつながっている。

視覚障がい者の演奏家(伴奏者)の協力も得られ子どもたちと障がい者の交流が自然に行われるようになってきた。

5. 今後の事業展開

今後も、松戸市ろうあ協会との連携をはかり、子どもたちとの表現活動を通して聴覚障がい者への理解を深めるメッセージを発信し伝えていきたい。

そのために、2011年度も「手と手で話そう Part2」として事業を継続して行う。

そして様々な障害者と子ども達との接点をつくりながら誰もが生き生きと生活していける地域づくりを目指したい。

収支決算書

【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	参加費	¥ 35,000	¥ 17,000	¥ -18,000	
	団体負担金		¥ 18,000	¥ 18,000	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 35,000	¥ 35,000	/ ¥ -	
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	/ ¥ -	精算額
	資金合計額 (C) (a+b)	¥ 135,000	¥ 135,000		

【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 広報チラシの印本費	¥ 25,000	¥ 24,400	¥ 600	
	2 テキスト印刷費	¥ 20,000	¥ 10,580	¥ 9,420	
	3 講師謝金	¥ 90,000	¥ 98,067	¥ -8,067	
	4 会場費	¥ -	¥ 1,029	¥ -1,029	
	5 文具代		¥ 924	¥ -924	
	対象となる経費合計額 (d)	¥ 135,000	¥ 135,000	/ ¥ -	
その他経費	スタッフ飲食費用			¥ -	
		¥ -	¥ -	¥ -	
	その他経費合計額 (e)	¥ -	¥ -	¥ -	
	事業費 (f) (d+e)	¥ 135,000	¥ 135,000	/ ¥ -	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	0 -
-----	---	-----

団体名 NPO法人子どもとまつど
 代表者氏名 渡辺洋子



収支内訳書

【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
参加費	¥ 17,000	500円×22人	ワークショップ
		500円×12人	手話教室2回
団体負担金	¥ 18,000		
自己資金合計額	¥ 35,000		
市助成金額	¥ 100,000		
収入合計額	¥ 135,000		

【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
助成金の交付対象経費	1 広報チラシの印本費	¥ 24,400	ワークショップ*10,000 ポスター*4,400 手話教室2回*10,000	
	2 テキスト印刷費	¥ 10,580	9,600円 980円	手話教室の実施分*60部 160円×60 発表会用コピー*10円×98
	3 講師謝金	¥ 98,067	54,547円	ワークショップ7月11日講師謝金
			14,000円 10,000円	手話教室講師2回*7,000円×28月19日/26日
			3,280円 16,240円	手話教室助手 8月19日/26日 手話通訳料 6月30日事前打ち合わせ 手話通訳料 8月19日/26日夏休み手話教室
	4 会場費	¥ 1,029	147円×7h	手話コーラス発表の練習会
	5 文具代	¥ 924		文具代*手話教室・発表
対象となる経費合計額	¥ 135,000			
その他経費				
	その他経費合計額	¥ -		
支出合計額	¥ 135,000			

第5号様式



松戸市市民活動実績報告書

平成23年3月25日

松戸市長

住所(所在地) 松戸市西馬橋相川町128

団体名 NPO法人風の子サークル

代表者氏名 河上るみ子



平成22年4月1日付け松市市協第386号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

○ 収支内訳書

・・・別紙1

○ 領収書等

・・・別紙2

活動状況報告書

1. 事業名称 子育ての根っこを育てよう！親子広場「風の子ルーム」

2. 実施主体

■ 団体名： NPO 法人風の子サークル

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I 1、2才児 あひるクラブ の実施

日付	作業内容
5月11日	親子自己紹介 わらべうたでふれあい遊び（講師） 「もっと語りかけましょう、もっと笑いかけましょう」
6月15日	わらべうたでふれあい遊び（講師） 「なぜ、今わらべ歌なのか。わらべうたが伝えるもの」
29日	外遊び（どろ遊び、シャボン玉） 保健士さん講座「乳幼児の事故防止と応急手当」（講師）
7月6日、15日	リトミック（講師） ママ企画「お店屋さん・夏祭り版」
9月21日	わらべうた（講師）「子どもとの信頼関係をはぐくむために」
28日	水遊び こぶたクラブと合同ミニ運動会
10月12日	わらべうた ポシェット作りとどんぐり拾い
11月9日	わらべうた（講師） 「子ども同士の関わりと子どもの力を育む」 簡単凧を作って外で走ろう
12月7日	絵本講座「絵本が伝えるもの」（講師）
1月18日	わらべうた 子育て講座「お片づけ 子どもへの働きかけ」（講師）
2月1日	わらべうたでふれあい遊び
3月1日	わらべうたでふれあい遊び おひなさま工作

II 2、3才児 こぶたクラブ の実施

日付	作業内容
5月18日	親子自己紹介 お友だちとわらべうたで遊ぼう（講師） 「わらべ歌の遊びの中で、子どもの心を育てる」
6月8日	リトミック（講師）
29日	あひる合同 保健士さん講座「乳幼児の事故防止と応急手当」（講師）

7月13日 15日	絵本の世界（講師） 「長く読み継がれてきた絵本の中にみる、子どもが共感するおはなし」 あひる合同ママ企画「お店屋さん・夏祭り版」
9月14日、28日	わらべうた（講師） 「子どもがわくわくする遊び・昔ながらの集団遊びとは」 水遊び あひるクラブと合同ミニ運動会
10月5日	わらべうたで集団遊び（講師）外で思い切り体を動かそう 「追いかけたり、逃げたり。わらべ歌で子ども同士の関わりを育てる」
11月2日	わらべうたで集団遊び どんぐり拾い
12月14日	どんぐりクッキー作り（講師）「どんぐりって食べれるの？」 工作クリスマスツリー
1月25日	わらべうたで集団遊び（講師） 「1人で耐える力を育む、いろいろな気持ちを発散するわらべ歌」 簡単凧を作って外で走ろう
2月8日	わらべうたで集団遊び 円盤を作って飛ばそう
3月8日	わらべうたで集団遊び ふうせん動物を作って遊ぼう

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

参加者延人数は、あひるクラブ110名、こぶたクラブ78名だった。わらべうたを中心に取り入れて一緒に遊ぶことで参加した親子間のつながりを作っていた。母親は毎回のプログラムを徐々に楽しんでいくようになり、最初は緊張していた子どもたちも、回を重ねることで積極的に参加できるようになった。その効果で、母親間で日頃の子どもとの生活などについて語り合う場面も見られ、自分の子どもや子育てについて再認識できる、新たな人間関係を築く一歩となった。

また、わらべ歌の講師からは、「わらべ歌」を通した子育てや子ども同士の関わりを体験とともにお話しいただき、遊びを体験することで、子育てのベースを学ぶことができ参加者の子育てに対する希望が開けたと思う。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

子どもとの閉塞しやすい日々の中で、月に1度でも同じくらい子どもをもつ親子が集まり、歌ったり遊んだりする楽しさは、日々のストレスの解消や心の開放につながった。定期的に集まって話しをしたり遊ぶことで、気持ちを新たにして子どもに向かう活力となったと思う。また、子どもとどんなふうに遊べばいいかわからないという話を聞くことも多い中、母と子のふれあいを大切にしたいわらべ歌を多く盛り込み、家庭や外出先でも遊べるようなものを日々の生活に簡単に取り入れるヒントとともに伝えた。子どもたちも回

を重ねるごとに、お母さんのひざで、安心した表情で歌ったり遊んだりするようになった。また、同じくらいの発達状態の集団の中で遊ぶことで、母親と2人だけでは発散が難しいパワーをのびのびとした遊びにつなげられた。友だちという意識が芽生え始めた子どもたちにとって、友だちと遊ぶ楽しさを感じてもらうことができたと思う。

仲間作りという点では、今回の参加者は実施地域に近くに住んでいる親子の割合が多かったので、情報交換もしやすく、また、身近に同じ子育て仲間がいるという安心感につなげられと思う。参加者には、このつながりを継続しながら、子育ての力となるよう有効に活用してもらいたい。

5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

上記のような成果があったが、今回の事業で第一段階として、母親同士の横のつながりが出来た。第二段階として、子育ての環境をさらに良くしたいという思いが母親たちの中から生まれ、自発的な活動につながるように支援していきたい。

収支決算書

【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	参加会費	¥ 60,000	¥ 18,800	¥ -41,200	
				¥ -	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 60,000	¥ 18,800	¥ -41,200	/
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 81,664	¥ 18,336	精算額
	資金合計額 (C) (a+b)	¥ 160,000	¥ 100,464		/

【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 広報チラシの印本費	¥ 20,000	¥ 12,790	¥ 7,210	
	2 講座講師料	¥ 120,000	¥ 70,000	¥ 50,000	
	3 消耗品費	¥ 5,000	¥ 7,948	¥ -2,948	
		対象となる経費合計額 (d)	¥ 145,000	¥ 90,738	¥ 54,262
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 5,000	¥ 6,300	¥ -1,300	
	雑費	¥ 10,000	¥ 3,426	¥ 6,574	
		¥ -	¥ -	¥ -	
		その他経費合計額 (e)	¥ 15,000	¥ 9,726	¥ 5,274
	事業費 (f) (d+e)	¥ 160,000	¥ 100,464	¥ 59,536	/

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	18,336
-----	---	--------

団体名 NPO法人風の子サークル
 代表者氏名 理事長 河上るみ



収支内訳書

【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項 (用途など)
あひるクラブ 参加会費	¥ 11,000	200円×55組	
こぶたクラブ 参加会費	¥ 7,800	200円×39組	
自己資金合計額	¥ 18,800		
市助成金額	¥ 81,664		
収入合計額	¥ 100,464		

【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項 (用途など)	
助成金の交付対象経費	1 広報チラシの印本費	¥ 12,790	1279部×10円	7月～2月分 チラシ1099部、講座等資料180部
	2 講座講師料	¥ 70,000	5000円×14回	講師名 平尾倫世氏、小長谷芽美氏 荒木朋子氏、奥 真理氏
	3 消耗品費	¥ 7,948		5～6月分チラシ、講座等資料用A4用紙 プリンターインク代、文具代、等
	対象となる経費合計額	¥ 90,738		
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 6,300		昼食代 1人*450円*14回
	雑費	¥ 3,426		ゴミ袋、タオル、トイレットペーパー等
	その他経費合計額	¥ 9,726		
支出合計額	¥ 100,464			

第5号様式



松戸市市民活動実績報告書

平成23年3月31日

松戸市長 様

住所(所在地) 松戸市東平賀7-2

団体名 特定非営利活動法人

たすけあいの会ふれあいネットまつど

代表

代表者氏名 島田 喜七



平成22年4月1日付け松市市協第387号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

活動状況報告書

1. 事業名称 たすけあい・よろず相談員制度の必要性調査

2. 実施主体

■ 団体名： 特定非営利活動法人 たすけあいの会 ふれあいネットまつど

3. 事業の実施内容

I 郵送方式に依るアンケート調査の実施 (サンプル数/総数)

・調査対象 「NPO法人 たすけあいの会 ふれあいネットまつど」(47/158)
「NPO法人 宅配給食 すずな」(38/92)

活動実施 期間	作業内容
4月15日～5月15日	事業企画打合せ アンケート相手先 (fmmの利用者・協力者・宅配給食 すずな様の管理者との協力支援要請、利用者対策等) 事業内容説明
5月20日～6月30日	事業内容パンフレット並びにチラシ、アンケート用紙案、アンケート依頼文等の企画
7月05日～7月30日	パンフレット、チラシの印刷、依頼文の印刷
8月05日～10日	アンケートの送付方法、郵政省(局)との折衝(回収方法)
8月15日～30日	同上 発送 (宅配給食すずな様、ふれあいネットまつど)
8月25日～9月30日	アンケートの回収
10月10日～H23/1月10日	データの解析と纏め
1月15日～2月25日	事業者別・利用者と協力者別等
2月26日 ～3月25日	報告書の作成 データ解析最終検討並びに報告書の作成

II 市民コンサートに依るアンケート調査 (45/120)

・調査対象 市民コンサート参加者 於：10/21日 小金原市民センター

活動実施 期間	作業内容
7月1日～8月10日	事業企画打ち合わせ コンサート内容、アンケートの取り方、広報等
8月10日～25日	チラシの企画及び作成
9月11日～	チラシの印刷
9月13日～9月30日	市の広報掲載依頼(10月15日号)・広報活動推進(小金原団地自治会等のチラシ配布・ポスティング等)
10月6日～7日	会場準備(装飾・関係者の役割分担等)
10月21日	コンサートの実施・アンケートの実施
11月1日～H23/2月	データの纏め方企画・データの解析と取り纏め
2月26日 ～3月25日	報告書の作成データ解析最終検討並びに報告書の作成

Ⅲ 市民講演会に依るアンケート調査 (103/150)

・調査対象 市民講演会の参加者 於：11/13日 小金原市民センター

活動実施 期間	作業内容
7月1日～8月10日	事業企画打ち合わせ 講演内容（講師・題目・時間）、アンケートの取り方、広報等
8月15日～9月30日	後援団体等へのお願い（主旨説明—パンフ）
9月11日～9月30日	チラシ・ポスター（A4版・A3版）の企画・印刷
9月20日～ 11月05日	市の広報掲載依頼（10月15日号）・広報活動推進（小金原団地自治会等のチラシ配布・ポスティング・社協・医師会・協働推進課等）・コアラTV・地域新聞・コミュニティー誌・千葉NPO協議会機関紙等
8月00日 ***	小金原市民センターの公用申請（会場確保）
10月13日・11月1日	会場下見（会場レイアウト・役割分担・照明・幕）
11月13日	市民講演会の実施・アンケートの実施
11月20～H23/2月	データの取り纏め方針等の企画と実施
2月26日 ～3月25日	データ解析・報告書の最終検討並びに報告書の作成

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

アンケート対象を絞り（当初計画通り）、内容も「回答内容」にも反映されていると思う。「郵送方式と市民センターでの講演会等におけるアンケート回収」となった。

*ふれあいネットまつどに於ける「利用者・協力者」と「健常者対障害者等の移動困難者」にてのアンケートの収集となった。

制度（たすけあい・よろず相談員の説明会等の効果）を理解されたようで、回収に反映されている。

*宅配給食事業者様は、対象者として「当初設定」通であり、其の必要性・実際の支援を待っているデータも見うけられた。調査対象としては最適で有った。

今一步深く入り込む（面接をする等の手段）、更なる精度の高い内容となったか！

*窓口の一本化の時期は有るも（期待値も有るが）、現実的には「相当に困難か？」

相談制度が行政にて推進されているも（専門分野毎である）調査としては大成功である。

(2) 事業課題の解決について

アンケート調査により、「困難な状況時における相談事項や相手」が明確になり、更に、直接的には、コメント記入による、相談員制度の具体的な記述も多々有った。次年度以降の計画推進の場合は、具体的に活動を推進する為の連携先や行政等の支援策をも指導を得たく思います。

A アンケートの年齢構成

年齢	アンケート数	構成比率	備考
20歳代から50歳代	34	15%	添付グラフ有
60歳代から80歳代	199	85%	

B 相談困り事の内容（上位5）

項目	アンケート数（構成比率）	備考
病気・医療のこと	98（28%）	添付グラフ有
介護のこと	78（23%）	
家事のこと	44（13%）	
家族のこと	39（11%）	
経済的のこと	36（10%）	

C 主な相談相手（上位5）

項目	アンケート数（構成比率）	備考
家族	80（28%）	添付グラフ有
病院・診療所	39（14%）	
友人	32（11%）	
ケアマネ	32（11%）	
親戚	24（8%）	

D 行政等への要望事項（窓口に関する制度の必要性に関する記述）

- *行政関連（相談窓口）は、バラバラであり、此れの一本化が、望ましい。
- *役所にも「相談課」があると良い。
- *色々な支援センターが存在するも、先ずは「何でもワンストップ」で、相談（受付）出来る電話センターを明確にして欲しい。
- *日頃から自分で関心を持っていないと、いざ困った時に「何処へ相談したら」良いか解らない。PR不足か？本人の無関心か？？もう少し「気軽な支援・相談窓口」はないものか！！
- *困り事が解決しても、其の後も継続且つ安定的に話しあいの場を持って欲しい
- *相談先が解らない
- *民生委員やケアマネ（介護保険）でなく、松戸市や社会福祉協議会等の公的機関が認定した人（相談員—NPOのボランティア活動員）を、市内に配置する。広報まつどにより、其の制度を周知し、相談窓口ダイヤル（TEL）にて連絡し、相談員を派遣する。

5. 今後の事業展開

- (1) 特定NPO法人との連携による「たすけあい・よろず相談員の制度化」を目指したモデル事業を展開する。

※協働事業として「定期訪問・見守り・話し相手など」を併せて推進する。

- (2) 超高齢化社会の中で独居高齢者や家族・近隣組織（自治会）などの、絆の構築を図れるコミュニティ組織の立ち上げをする。

※地域社会の人と人とのつながり、定期的なコンタクトによる情報ネットワークを構築する。

小さな団体から大きな組織へ・・・

現在の各種行政サービスでは受け皿として不備はあり、受身である。これらの前向きな組織としての・・・？相談員制度の推進が為に尽力したい。相談員制度の実施と実績を拡大する方向が「より一層の行政を動かす」力になればよい。

収支決算書

【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	1. 会費	¥ 22,000	¥ 18,675	¥ -3,325	会財政より繰入
				¥ -	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 22,000	¥ 18,675	¥ -3,325	
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	精算額
	資金合計額 (C) (a+b)	¥ 122,000	¥ 118,675		

【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1. 諸謝金	¥ 30,000	¥ 25,000	¥ 5,000	
	2. チラシ・パンフ	¥ 10,000	¥ -	¥ 10,000	
	3. 印刷・製本	¥ 20,000	¥ 31,440	¥ -11,440	
	4. 郵便	¥ 16,000	¥ 33,855	¥ -17,855	
	5. 会場費	¥ 2,000	0	¥ 2,000	
	6. データ解析・報告書検討	¥ 31,000	0	¥ 31,000	
	7. その他(用紙・封筒)	¥ 6,000	¥ 14,280	¥ -8,280	
	8. 調査委託料	¥ -	¥ 10,000	¥ -10,000	
				¥ -	
	対象となる経費合計額 (d)	¥ 115,000	¥ 114,575	¥ 425	
その他経費	9. スタッフ交通・通信費	¥ 7,000	¥ 4,100	¥ 2,900	
	その他経費合計額 (e)	¥ 7,000	¥ 4,100	¥ 2,900	
	事業費 (f) (d+e)	¥ 122,000	¥ 118,675	¥ 3,325	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内 $¥114,575 \times 0.9 = ¥103,118 > ¥100,000$
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	0
-----	---	---

団体名 特定非営利活動法人
たすけあいの会ふれあいネットまつど

代表者氏名 代表 島田 喜七



収支内訳書

【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
1. 年会費	¥ 18,675	18,745	会財政より繰入
自己資金合計額	¥ 18,675		
市助成金額	¥ 100,000		
収入合計額	¥ 118,675		

【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
助成金の交付対象経費	1. 諸謝金	¥ 25,000		11/13講演会講師(旭俊臣氏:旭神経内科リハビリテーション病院院長)謝金
	2. チラシ・パンフ	¥ -		
	3. 印刷・製本	¥ 31,440	①②③ 事業紹介パンフ	A3二つ折り4頁カラーパンフレット@¥30×88部 A3二つ折り8頁カラーパンフレット@¥60×150部 *本事業を関係先に説明用として配布
			④⑤ 11/13講演会ポスター	A3カラーポスター@¥30×600枚 30×60枚 *講演会告知用を協力依頼先(市民センター等公共施設・医師会・社協・小金連合町会等)に配布掲示
	4. 郵便	¥ 33,855	①アンケート発送 ②アンケート返送料金後払	ヤマトメール便: @¥80×346部 郵便会社: @¥95×65通
	5. 会場費	¥ -		
	6. データ解析・報告書検討	¥ -		
	7. その他(用紙・封筒)	¥ 14,280	①返信用封筒印刷	@¥14.28×1000枚
	8. 調査委託料	¥ 10,000	①アンケート調査協力委託料	NPO法人宅配給食すずな利用者へのアンケート用紙配布・回収等の協力に対して
対象となる経費合計額	¥ 114,575			
その他経費	9. スタッフ交通・通信費	¥ 4,100	①～⑥11/13講演会設営等スタッフ駐車料	小金原市民センター駐車場に停められないスタッフ76人は小金原中央駐車場に駐車
	その他経費合計額	¥ 4,100		
支出合計額	¥ 118,675			

第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成23年 3月 29日

松戸市長 本郷谷 健次 様

住所(所在地)松戸市千駄堀 1245-1

団体名 松戸里やま応援団「^{こはま}小^{もり}浜^{かい}の森の会」

代表者氏名 代表 ^{つのだ}角田 ^{やすひろ}安弘



平成22年4月1日付け松市市協第388号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

活動状況報告書

1. 事業名称 小浜屋敷の森 保全育成事業

2. 実施主体

■ 団体名： 松戸里やま応援団「小浜の森の会」

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I 小浜屋敷の森での保全・整備活動

日付	作業内容
2010年 4月	投棄ごみ回収・植生調査・枯れ枝の処理 他 / 活動 2 回・参加者延 17 名
5月	危険木の伐採・林内除草・側溝の清掃 他 / 活動 2 回・参加者延 17 名
6月	竹林の間伐・間伐材置き場設置・樹木調査他 / 活動 3 回・参加者延 23 名
7月	掲示板設置・樹林外周の除草・樹林内整備他 / 活動 4 回・参加者延 28 名
8月	枯れ木の伐倒・竹林の間伐・投棄ごみ回収他 / 活動 2 回・参加者延 21 名
9月	危険木の伐採・枝落とし・除草・切株の整理 / 活動 2 回・参加者延 16 名
10月	竹林の間伐・切り株の整理 他 / 活動 1 回・参加者 8 名
11月	枯れ木の伐倒・散策路の整備・投棄ごみ回収 / 活動 2 回・参加者延 17 名
12月	植生調査・樹林地測量・掲示板 2 基目を設置 / 活動 3 回・参加者延 33 名
2011年 1月	樹林地測量・間伐竹を移動・整理し広場確保 / 活動 2 回・参加者延 20 名
2月	植栽ゾーンの開墾・植生調査・森の診断 他 / 活動 3 回・参加者延 41 名
3月	ビオネスト造り・植栽・花壇造り 他 / 活動 2 回・参加者延 22 名

II フィールド以外および保全・整備作業外の活動

日付	作業内容
2010年 4月	植生調査まとめ①・竹伐採実習・総会・緑と花フェスタ出展 / 活動 4 回
5月	再発見ツアー受入・「救急救命講座(八ヶ崎消防署)」受講 / 活動 2 回
6月	七喜の会「紙敷石みやの森」応援参加 / 活動 1 回
7月	「大町教育の森」視察・ステップ・アップ講座に参加 他 / 活動 3 回
8月	「刈払い機実務講座」受講・植生調査まとめ② / 活動 2 回
9月	ステップ・アップ講座に参加 / 活動 1 回
10月	ステップ・アップ講座に参加・アートラインに協力 他 / 活動 3 回
11月	「ふるさと森の会」視察受入、八ヶ崎の森植樹祭に参加 / 活動 2 回
12月	植生調査まとめ③ / 活動 1 回
2011年 2月	「森づくりの研修会」を開催 / 活動 1 回
通年	秋山の森の活動に参加、オープンフォレスト活動に参加

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

●計画はほぼ達成できた。

- ・ 投棄ごみの収集・回収処理、間伐・除伐・下草刈で作業路(将来は散策路)を確保。
- ・ 広報を目的とした掲示板を2基設置。活動記録・里やま活動の紹介を行なっている。
- ・ 作業の出来た所には、当初見られなかった草花が芽吹くようになった。
- ・ 植生調査の実施とまとめを3回行なった。
- ・ 森の将来像を練るため、基本とする樹木をもとに樹林地の測量を実施し、樹木配置図を作成した。
- ・ 「松戸のみどり再発見ツアー」「ふるさと森の会 視察会」と団体の受入を2回行なった。
- ・ 「松戸アートライン」に出展の武蔵野美術大学学生に協力。マダケを提供した。
- ・ 趣旨に賛同いただいた方3名が新規に入会してくれた。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

- ・ 樹林の整備作業の初期段階の道具が確保でき、整備作業の進捗におおいに利用できた。
- ・ 物置の設置で、必要な道具・備品類が収納できたことで、それらの器材を臨機に利用でき作業効率を良くしている。
- ・ 作業を通し、近隣住民・テニスコート及びグラウンド利用者と挨拶・会話を交わし、活動に対する理解が得られてきたことを感じる。励ましや感謝の言葉をいただいている。
- ・ 森での作業・活動には事故・ケガが心配され、安全対策として救急薬品・備品等を準備した。また、救急救命の講座・安全作業のための講習などの受講を奨励している。
- ・ 樹林地の不法投棄ごみは、市のみどりと花の課・環境業務課を通し年2回回収してもらっているが、ごみの量は少なくなってきた。
- ・ 人力では手に負えなかった竹の根の開伐を、2月に小型のパワーショベルを使用し開墾した。同時に、ビオネスト用に一坪程のコンポスト穴も用意できた。

5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

- ・ 鳥が飛来し、昆虫が棲息する、四季折々の植物が観賞できる森にする。
- ・ 開墾した竹林(市道沿いの幅2m・長さ50m程度)のあとに、花木・小鳥の餌となる実のなる樹木、山野草を植栽し、近隣住民・グラウンド利用者にも親しまれるゾーンとして整備する。
- ・ 安心して一般の人たち・子供たちを森に受入れるには、安全面において今一步の整備が必要で1~2年かかりそう。特に夏から秋にかけてスズメバチが巣作りし飛び交っている。
- ・ 限られた環境であるが、広場で行なえるイベントを行なう。
- ・ 枯れ木・間伐材の処理に苦労はあるが、朽ちるまでは見かけ良く蓄積・処理をする。

収支決算書

【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	会員年会費	¥ 13,000	¥ 13,000	¥ -	
	緑と花フェスタ売上	¥ 15,000	¥ 3,500	¥ -11,500	
	小浜の森の会より		¥ 357	¥ 357	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 28,000	¥ 16,857	¥ -11,143	/
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	精算額
	資金合計額 (C) (a+b)	¥ 128,000	¥ 116,857		/

【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 作業用具費	¥ 89,000	¥ 65,569	¥ 23,431	
	2 広報活動費	¥ 20,000	¥ 22,855	¥ -2,855	
	3 消耗品費	¥ 5,000	¥ 14,040	¥ -9,040	
	4 安全対策費	¥ -	¥ 10,248	¥ -10,248	
		対象となる経費合計額 (d)	¥ 114,000	¥ 112,712	¥ 1,288
その他経費	交通費補助費	¥ 9,600	¥ 4,145		
	飲料水補助費	¥ 4,400	¥ -		
	その他経費合計額 (e)	¥ 14,000	¥ 4,145	¥ 9,855	/
	事業費 (f) (d+e)	¥ 128,000	¥ 116,857	¥ 11,143	/

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額

¥ 0.-

団体名 公戸里やま応援団「小浜の森の会」
代表者氏名 角田 安弘



収支内訳書

【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項 (用途など)
会員年会費	¥ 13,000	✓ ¥1,000×13名	会員会費
緑と花フェスタ売上利益	¥ 3,500	✓ 罎20枚販売利益	罎の販売
小浜の森の会より	¥ 357	✓	
自己資金合計額	¥ 16,857	✓	
市助成金額	¥ 100,000		
収入合計額	¥ 116,857		

【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項 (用途など)	
助成金の交付対象経費	1 作業用具費	¥ 65,569	作業用道具・材料・ 広報用機材	鋸・鎌・刈込み鋏・木製杭・ラミネーター など
	2 広報活動費	¥ 22,855	掲示板(2基)材料費	木材・金具・設置基礎材
	3 消耗品費	¥ 14,040	作業補助用品・広報 用品	洗剤・テープ・棕櫚縄・インク・用紙・ ラミネートフィルムなど
	4 安全対策費	¥ 10,248	救急処置用品・防虫 用品	防虫ネット・殺虫剤・ポイズンリムー バー
	対象となる経費合計額	¥ 112,712		
その他経費	交通費補助費	¥ 4,145	高速料金・ガソリン代	「酒井さんちの森」実習体験(茨城町)
	その他経費合計額	¥ 4,145		
	支出合計額	¥ 116,857		

第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成23年 3月29日

松戸市長

住所 千葉県松戸市上本郷 1424-58

団体名 Team りぼん

代表者氏名 富 永 桂



平成22年4月1日付け松市市協第389号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

○ 収支内訳書

・・・別紙1

○ 領収書等

・・・別紙2

活動状況報告書

1. 事業名称 医療セミナー
2. 実施主体
■ 団体名: Team りぼん
3. 事業の実施内容

第4回 医療セミナー「がんを食生活から考える!!」の実施

日付	作業内容
1月22日～2月26日	事業企画打ち合わせ がん患者・家族総合支援センター打ち合わせ
2月27日	西台クリニック 済陽高穂氏 打ち合わせ
6月11日	企画打ち合わせ チラシ・ポスター作成
4月21日	市の広報掲載依頼 (6月1日号)
4月21日	チラシのPR活動
6月1日～6月11日	セミナー会ち合わせ及び準備
6月12日	セミナー実施 森のホール21 済陽高穂氏 参加96人 検診者8名

第37回 松戸まつり エコ検診車出店&検診

日付	作業内容
7月19日	企画打ち合わせ
8月9日～8月24日	松戸商工会議所打ち合わせ
8月24日	松戸まつり申込み
8月30日	日本医学研究所 打ち合わせ
9月2日～9月22日	松戸商工会議所打ち合わせ
10月1日～10月2日	出店打ち合わせ及び準備
10月3日	松戸まつり出店 検診者:36名

第5回 医療セミナー「子宮頸がんをよく知ろう！」

日付	作業内容
10月14日～1月29日	企画打ち合わせ
11月25日～12月1日	企画打ち合わせ 講師選定
1月6日	松戸市役所 協働推進課・保健福祉課 打ち合わせ
1月11日～1月17日	東京慈恵会医科大学附属柏病院 講師打ち合わせ
1月21日	市の広報市掲載依頼6月1日号
2月15日	企画打ち合わせ チラシ完成・広報活動開始
3月9日	新聞折り込みチラシにて 配付
3月12日	第5回医療セミナー 中止 (3月11日の震災により)

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

今年度、本会は主に市民を対象に医療や病気の正しい知識の普及・啓発を活動目的と定めております。その手段として、「食とがん」というテーマでセミナーを行い、更に乳がん検診の検診率向上の為に、セミナー及び松戸まつり会場に検診車を設置致しました。

私達の活動は、すぐに結果が出るものではありませんが、本年行ってきた活動により、広く市民の方に検診の重要性を訴える事や、知識の普及を行えたものと思っております。

(2) 事業課題の解決について

本会の活動においては市内のがん検診率の向上、市民の医療知識の質の向上が課題でした。検診率の向上という成果が表面化してくるには、もう少し長い時間がかかると考えられます。

1年という短い期間の活動だけで効果が現れてくるものではありませんので、継続的に活動していく事が重要と考えられます。医療知識の質の向上については、開催したセミナーを通じ、参加された方はもちろんの事、開催の為に広報（広報まつどや新聞の折込チラシ等）に掲載されている情報などを目にする事によって意識的な「気づき」を与える事に成功したと思われま

す。今後、その様な活動を継続的に行っていく事で、必ず結果が出るものと信じております。

5. 今後の事業展開

資金的な問題もあり、本会の活動を広報することが難しく、まだ一部の方にしかセミナーにご参加頂けていないのが実情です。今後、更に多くの方にご参加頂く為に、セミナーの内容や、広報活動の見直しを図っていきたいと思っております。そして、どうしたら検診を多くの方が受診出来るようになるのかを、活動を通して得た情報を市へフィードバックし、市民の方がより多く受診出来るような環境やしくみを構築するお手伝いをさせて頂きたいと思っております。

また、その目的達成の為に、今後も市と協力し、更に検診や医療の正しい知識の啓発普及に努めたいと思っております。

収支決算書

【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	前年度繰越金	¥ -	¥ 1,604	¥ 1,604	
	寄付金	¥ 35,610	¥ 10,230	¥ -25,380	
	自己出資金	¥ -	¥ 2,861	¥ 2,861	
	自己資金合計額 (a)	¥ 35,610	¥ 14,695	¥ -20,915	
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	精算額
資金合計額 (c) (a+b)		¥ 135,610	¥ 114,695		

【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 ポスター・チラシ費用	¥ 20,000	¥ / 31,235	¥ -11,235	
	2 講演会謝礼金	¥ 80,000	¥ / 55,000	¥ 25,000	
	3 会場使用料	¥ 17,610	¥ / 1,780	¥ 15,830	
	4 備品購入費	¥ -	¥ / 2,229	¥ -2,229	
	5 食材購入費	¥ -	¥ / 5,432	¥ -5,432	
	6 DM発送費	¥ -	¥ / 5,700	¥ -5,700	
	7 検診車 駐車場代	¥ -	¥ / 500	¥ -500	
	8 出店費	¥ -	¥ / 7,000	¥ -7,000	
	9 携帯電話購入費	¥ -	¥ / 5,819	¥ -5,819	
		対象となる経費合計額 (d)	¥ 117,610	¥ 114,695	¥ 2,915
その他経費	スタッフ駐車場代	¥ 3,000	¥ -	¥ 3,000	
	備品	¥ 10,000	¥ -	¥ 10,000	
	予備費	¥ 5,000	¥ -	¥ 5,000	
	その他経費合計額 (e)	¥ 18,000	¥ -	¥ 18,000	
事業費 (f) (d+e)		¥ 135,610	¥ 114,695	¥ 20,915	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	0 -
-----	---	-----

団体名
代表者氏名

Team りぼん
富永 桂明



収支内訳書

【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
前年度繰越金	¥ 1,604	1,604円	前年度繰越金
寄付金	¥ 10,230	10,230円	寄付金
自己出資金	¥ 2,861	2,861円	自己出資金
自己資金合計額	¥ 14,695		
市助成金額	¥ 100,000		
収入合計額	¥ 114,695		

【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)		
助成金の交付対象経費	1	ポスター・チラシ作成費	¥ 31,235	コピー用紙40,000枚印刷 ラミネート	第4回医療セミナーの実施分 3,000部配布 第5回医療セミナーの実施分 37,000部配布
	2	講演会謝礼金	¥ 55,000	55,000円*1回	講師名 済陽 高穂 氏
	3	会場使用料	¥ 1,780	1,780円*1回	松戸森のホール21 大会議室(音響設備使用料)
	4	備品購入費	¥ 2,229	紙コップ267円*2 DM105円*8 おしぼり・おしぼり台105円*4 画用紙435円*1	画用紙・紙コップ・DM用封筒 講師用おしぼり・おしぼり台 購入費
	5	食材購入費	¥ 5,432	ニンジン35本 レモン35個 キャベツ3玉 リンゴ12個	第4回医療セミナー 飲み物提供用
	6	DM発送費	¥ 5,700	2,580円*2回	第4回医療セミナー実施分 50枚 第5回医療セミナー実施分 50枚
	7	検診車 駐車場代	¥ 500	1台 500円	第4回医療セミナー 検診車駐車場代 場所:松戸森のホール21
	8	出店費	¥ 7,000	1回(1日分)7,000円	第37回松戸まつり 出店費用
	9	携帯電話購入費	¥ 5,819	機体1台:2,709円 申込みFAX1回:110円 プリペイドカード1枚:3,000円	第5回医療セミナー以降 (受付専用電話)
	対象となる経費合計額	¥ 114,695			
その他経費			¥ -		
			¥ -		
			¥ -		
			¥ -		
	支出合計額	¥ 114,695			

第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成23年3月30日

松戸市長

住所(所在地) 松戸市新松戸3-296

サンライトパストラル壱番街A-1207

団体名 まつどサロンネットワーク

代表者氏名 桑田雅子



平成22年4月1日付け松市市協第 号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

○ 収支内訳書

・・・別紙1

○ 領収書等

・・・別紙2

活動状況報告書

1. 事業名称 まちづくりコラボサロン

2. 実施主体

■ 団 体 名： まつどサロンネットワーク

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I サロンの実施

日付	作業内容
4月15日	第1回サロン(女性センター研修室)
5月7日	第2回サロン(女性センター研修室) ゲストスピーカー 「豆のちから」柳町恵美子さんを囲んで
5月21日	第3回サロン(女性センター研修室)
6月10日	第4回サロン(女性センター研修室)
7月17日	第5回サロン(女性センター研修室)
7月29日	第6回サロン(女性センター研修室)
8月13日	第7回サロン(女性センター研修室)
9月3日	第8回サロン(女性センター研修室)
9月24日	第9回サロン(女性センター研修室) ゲストスピーカー 「フレンドスペース」カウンセラー、菊池恒さんを囲んで
10月20日	第10回サロン(女性センター研修室)
11月15日	第11回サロン(女性センター研修室)
12月27日	第12回サロン(女性センター研修室)
1月19日	第13回サロン(女性センター研修室)
2月3日	第14回サロン(女性センター研修室)
3月17日	サロン開催予定だったが、東北関東大地震発生のため中止

II オープニングイベント 田中優氏講演会「社会と自分の常識を変えるヒント」

日付	作業内容
5月7日	サロン内で講師検討、決定(まつど広報に掲載依頼)
5月15日～17日	チラシ作成、進行内容などの企画企画及び作成
5月22日	チラシの印刷
5月23日	サロン内で最終の打ち合わせ
6月25日(金)	田中優氏講演会開催 女性センターホール 18:30～21:00 参加者 52人

III 「なつやすみファミリーサロン～親子で出会うフェスタ」の実施

日付	作業内容
6月10日	講座企画をサロンの中で打ち合わせ
6月22日～25日	場所の選定、8月1日号にまつど広報に掲載依頼

7月6日	サロン内で講演会のチラシ案検討、実施計画の検討
7月15日・8月12日	チラシ印刷（増刷分含む）
7月16日～8月8日	チラシの配布および配布依頼、新松戸地区ポスティング
8月17日	フェスタ当日プログラム印刷
8月19日（木）	フェスタ開催 松戸市民センターホール 13時～16時 出展24（団体・個人） スタッフ・出展者約50人参加 来場者数 110人程度

IV 「新米ママののびのびサロン」の実施

日付	
6月1日	講座企画スタッフ打ち合わせ
6月4日～10日	チラシの企画及び作成
6月19日・6月24日	チラシの印刷
6月15日～7月10日	チラシ配布・
7月17日（土）	「新米ママののびのびサロン」実施 南花島会館 14時～16時参加者13人

V 会報紙作成(予定)の実施

日付	
1月19日	会報紙企画打ち合わせ
2月3日	企画打ち合わせ（アンケート内容の検討・座談会収録）
2月21日～2月28日	アンケート回収
3月10日	アンケートの内容・座談会内容まとめ
3月15日	会報紙内容決定
3月20日	会報紙印刷
3月21日～3月31日	会報紙配布
3月下旬	会報紙を囲んで「活動成果振り返りの会」開催予定

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について（太字が計画として提出した内容）

①定期的な会議の開催

月1回～2回の会議を定期的で開催する。（年間で通算20回を目安とする）

サロンの開催回数だが、予想外のイベントの開催などがあって、それをサロンとしては除外すると現在14回開催している。

イベント開催分少なくなったが、当初の予定程度のペースはできていると言っていいと思う。

また、ゲストスピーカーを招いての開催は2回程度しかできなかった。

ゲストスピーカーの話を中心にする、みんなの話が聞けないという声があって、新しいサロン参加者などは参加した感が無いまま、その日だけの参加となることが多いという意見もあり

また、特に企画の要望出てこなかったこともあって思っていたよりは少なくなった。

②イベントの開催

a. 立ち上げイベント

会の活動をアピールするために5月頃に立ち上げ記念イベントを行う。

予定より遅くなったが、田中優さんを講師に呼んで、「発想の転換」をいろんな活動のヒントにしてもらうような内容で講演会を行った。

メンバー、スタッフこみで50人を超える集客があり、その後のパネルディスカッションや会場との質疑応答なども活発に行われた。講演会の内容自体が時代に合ったものだったからだと思われる。

b. 成果発表会

年度末(1月~3月)に4月以降の活動の総括となるような、活動の成果の発表イベントをおこなう。

1年間の活動内容を記したものを会報紙として作成し、その成果を参加者全員に送るとともに配布し、意見交換も含めた交流会を3月中に開催する予定だったが、震災のため中止。

4月に落ち着いた頃開催予定。(会報紙は3月末に搬入^{入稿}、出来上がりは4月予定)

③会員への広報

会員には会議の進捗状況、提案の事例などを情報として流す。

定期的にNEWS LETTERとして一度でも参加した人には予定や決まったことなどをメールで流している。

④情報のネットワーク化

年度の後半に、会議のつながりから生まれた会、そのほかの活動事例、サロンや居場所の情報などをネットワーク化につなげるため、冊子を作製して配布、HPでも広報する。冊子の作成については予算のこともあり、冊子ではなく会報として3月中に作成の予定。(杜上が11月4月に延期)
会員から集めたアンケート、この1年のイベント内容、全く活動等に関係のない人が読んでも関心の持てるような内容にして、会員から手渡しや市民センターに配布予定。

(2) 事業課題の解決について (太字が課題解決と考えていた内容)

①生活上の課題や悩みをもつ人たちを、同様の状況にある人たちや、それに対して理解ある人たちとつなげ、課題解決のための新しい動きを生み出すための支援、アドバイスの場を作る。

・課題を持つ人達を呼び込み、そこで共通の課題を持つ人たちのつながりを生むことができるのでは、ということのをサロンの目的の一つに考えていたが、結果的にはこれは時間のかかることだと分かった。例えば発達障害の子供を持つ人同士、介護に悩む人同士、病後の心配を抱える人同士など。サロンに来てくれた人の中にそういう課題を抱える人達がいたし、実際に顔を合わせて話をする機会も作ることもできた。しかし、問題は課題を抱えている人たちの話す場を別に作ろうとすると、それを運営していく人が必要になる。課題を抱えた人がいきなり中心になって場を作るというのは精神的にも物理的にもいきなりはハードルが高い。かといってサロンに来ている人がボランティアで会の運営をいくつもするというのは現実的ではない。緩やかな「〇〇の会」というものがたくさんできるのが理想的だと思うが、企画運営する人材が課題を抱えた人自身ができるようにするのは容易なことではないし、時間をかけて支援していく必要を感じた。

しかし、生活面での多様な課題を抱えている人がサロンには参加してくれて、そのサロンの中で情報を交換している場面は何度もあった。(子育ての悩み、介護の経験、健康上の問題などにつ

いて知りうる情報を交換し、自分の経験を話す)

- ②地域資源としての場所（施設、提供される空間）、人材、技能、などを有効に活用し、地域に住む人たちが自ら人のつながりを作り、地域の活性化につなげていくきっかけを作る。

サロンを開催する中で出会いがあり、情報交換があり、交流があったが、企画を実現までに持っていくにはサロンの中で信頼関係ができてからだということが分かった。個人のしてみたいことをサロンネットワークとして支援してみようという企画が何度か出てきたが、来ていきなりではどんな人かは分からないし、人となりを知ってから、となると話だけでなく共に何かをする必要があると思い、またサロンネットのことを知ってもらう必要もあると思い、参加メンバーが中心となってイベントを企画実施してみた。これによって、メンバーの親近感は増し、そのイベントの中で「何かをしたい」と言う人の想いを実現できる可能性があることが分かった。（戦争体験を話したい希望の人を、他のイベントにつなぐなど）

つながりを作る活動の土台作りができたと言えると思う。

- ③社会に対して、何か自分が役に立つことをしたいという人たちが同様の意欲ある人たちと出会い、意見交換をし、連帯感を持つことで、その「思い」が活動へつながるための支援をする。

すでに活動を始めている人がメンバーの中には多いが、雑談の中でいくつかコラボレーションすることができた事例があった。子育ての活動をしている参加者が、サロンで出会った食育の活動をしている人に講師を依頼し、現在定期的な講師として招かれていること。

サロンで行ったイベントの中で戦争体験を話した女性、紙芝居をしてくれた元校長先生に対して講師依頼が何件もあり、その人の活動のきっかけになっている。また、現役の大学生で自分で作った虫や爬虫類のぬいぐるみを使った環境講座を行いたいと言う男性にイベントでブースを出してもらい、その後同イベントの参加者から別のイベントへの参加要請があり、活躍の場が広がった例、などがある。

また、アートを通じて高齢者への活動を続けているメンバーと認知症予防の多彩な講座をしているメンバーと出会って、やはり講座の依頼をして続けている。

5. 今後の事業展開

この1年でイベントやサロンでの交流をそ通して核となるメンバー約10人ができた。このメンバーたちを中心として課題の解決や活性化につながるような企画や冊子の作成、会の運営の方法をも形作っていきたいと考えている。

新しいメンバーを呼び込む方策もこのメンバー中心で考えていきたい。

また、今年は難しかったが、自分の課題を通して「何かできるのでは」と考えている個人を支援して、活動の展開にまで結び付けるモデルケースを作りたいと考えている。

収支決算書

【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	サロン会員参加費	¥ 115,000	¥ 52,000	¥ -63,000	
				¥ -	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 115,000	¥ 52,000	¥ -63,000	/
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	精算額
	資金合計額 (C) (a+b)	¥ 215,000	¥ 152,000		/

【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1. 会場費 (イベント分含む)	¥ 50,000	¥ 18,380	¥ 31,620	
	2 講演会謝礼金	¥ 94,000	¥ 56,000	¥ 38,000	
	3. 消耗品	¥ 20,000	¥ 9,207	¥ 10,793	
	4. 印刷費	¥ 31,000	¥ 43,860	¥ -12,860	
	対象となる経費合計額 (d)	¥ 195,000	¥ 127,447	¥ 67,553	/
その他経費	茶菓子等飲食費	¥ 20,000	¥ 15,273	¥ 4,727	
	講師飲食費	¥ -	¥ 3,680	¥ -3,680	
	駐車場料金	¥ -	¥ 5,600	¥ -5,600	
	その他経費合計額 (e)	¥ 20,000	¥ 24,553	¥ -4,553	/
	事業費 (f) (d+e)	¥ 215,000	¥ 152,000	¥ 63,000	/

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額

¥

団体名 まつどサロンネットワーク
代表者氏名 桑田雅子



収支内訳書

【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
サロン会員参加費	¥52,000	4/15 @200 × 8 = 1,600 5/7 @300 × 15 = 4,500 5/21 @200 × 10 = 2,000 6/10 @200 × 8 = 1,600 6/25 @500 × 53 = 26,500 7/6 @200 × 9 = 1,800 7/17 @300 × 6 = 1,800 7/29 @200 × 4 = 800 8/13 @200 × 6 = 1,200 9/3 @200 × 5 = 1,000 9/24 @300 × 6 = 1,800 10/20 @200 × 7 = 1,400 11/15 @200 × 5 = 1,000 12/27 @200 × 10 = 2,000 1/19 @200 × 7 = 1,400 2/3 @200 × 8 = 1,600	通常のサロンは一人200円の参加費 5/7, 7/17, 9/24はゲストスピーカーを囲んでのサロンで、参加費は一人当たり300円 6/25は講演会のため一人500円の参加費
自己資金合計額	¥ 52,000		
市助成金額	¥100,000		
収入合計額	¥152,000		

【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費 1 会場費	¥18,380	4/15 女性センター研修室 1,080 5/7 女性センター研修室 1,080 5/21 女性センター研修室 1,080 6/10 女性センター研修室 1,080 7/6 女性センター研修室 1,080 7/17 南花島会館 1,500 7/9 新松戸市民センターホール (フェスタ打ち合わせ) 630 7/29 女性センター研修室 1,080 8/13 女性センター研修室 1,080 9/3 女性センター研修室 1,080 9/24 女性センター研修室 1,080 10/20 女性センター研修室 1,080 11/15 女性センター研修室 1,080 12/27 女性センター研修室 1,080 1/19 女性センター研修室 1,080 2/3 女性センター研修室 1,080 3/17 女性センター研修室 1,080	* 女性センター研修室夜間料金 1時間360×3時間 1,080円 * 南花島会館 3時間分 * 新松戸市民センターは使用するホールで1時間の打ち合わせ (1時間630円) * フェスタ当日は公用で使用料金はなし (3月17日は震災のため中止)
2 講演会謝礼金	¥56,000	3,000円 * 2回 10,000円 * 2回 30,000円 * 1回	領収書は別紙

	3. 消耗品 (文具)	¥ 9,207	別紙詳細	印刷用紙、印刷用インク(サロン 当日の資料印刷用) 録音用 テープ、ワークショップ用付箋
	4. 印刷費	¥43,860	別紙詳細	
	対象となる 経費合計額	¥127,447		
その他経費	サロン飲み 物、茶代	¥15,273		
	講師飲食代 (6/25)	¥ 3,680		
	駐車場料金	¥ 5,600		
	その他経費合	¥24,553		
支出合計額		¥152,000		

第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成 23年 3月 31日

松戸市長

住所(所在地) 松戸市五香南 2-3-5

団体名 景観色彩を考える会・まつど

代表者氏名

高山 勉



平成22年4月1日付け松市市協第391号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

活動状況報告書

1. 事業名称 あなたのまち カラーウォッチング事業
2. 実施主体 ■団体名：景観色彩を考える会・まつど(1116の会)
3. 事業の実施内容

1. 松戸市眺望景観ポイントのバスツアーの実施 (好色・騒色 ぐるりまつど景観バスツアー)

日付	作業内容
4月15日	定例会 事業企画打ち合わせ
5月29日	定例会 事業企画打ち合わせ
6月14日	定例会 事業企画打ち合わせ～チラシ製作 各媒体掲載(SNS等)
6月28日	定例会 事業企画打ち合わせ
7月7日	定例会 事業企画打ち合わせ
7月10日	広報まつど掲載
7月17日(土)	実施 参加者／一般18名 メンバー6名 景観室1名 JCN コアラ葛飾 1名 計26名にて開催 (翌日以降コアラTV放映)

2. わが街カラーウォッチングの実施 (マブチモーター本社棟見学会)

日付	作業内容
8月16日	定例会 事業企画打ち合わせ
9月21日	定例会 事業企画打ち合わせ
10月20日	定例会 事業企画打ち合わせ～チラシ製作 各媒体掲載(SNS等)
11月15日	定例会 事業企画打ち合わせ
12月17日	実施 参加者／一般7名 メンバー6名 計13名にて開催

3. 今後を展望する勉強会の実施 (景観計画における色彩のあり方 松戸市役所 都市計画課)

日付	作業内容
12月28日	定例会 事業企画打ち合わせ
1月20日	定例会 事業企画打ち合わせ
2月9日	実施 参加者／一般7名 メンバー7名 計14名にて開催
2月9日～	2010年度の報告書(ビューポイント)作成中

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※ 計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

今期の事業は、下記の3本柱にて進めました。

1. 松戸市眺望景観ポイントのバスツアーの実施(7月)
2. わが街カラーウォッチングの実施(12月)
3. 今後を展望する勉強会の実施(2月)

開催内容と時期については、ほぼ計画通り進められました。

また1のバスツアーについては、広報まつどの成果もあり、一般参加者18名が参加され、多くの方への景観への意識の啓発ができたと考えます。

(2) 事業課題の解決について

※ 計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

基本的な色彩のあり方を幅広く市民に発信することができました。

5. 今後の事業展開

※ この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

引き続き ウォッチングやシュミレーション・勉強会の開催をすることで「色」を切り口にしたまちの色彩を見直す取り組みを実施して行きたいと考えます。

収支決算書

【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	年度会費収入より繰り入れ	¥ 24,000	¥ 6,000	¥ -18,000	
	イベント一般参加者会費	¥ -	¥ 18,000	¥ 18,000	
	自己資金		¥ 62,000		
	自己資金合計額 (a)	¥ 24,000	¥ 24,000	¥ -	
市	助成金額 (b)	¥ 80,100	¥ 73,209	¥ 6,891	精算額
	資金合計額 (C) (a + b)	¥ 104,100	¥ 97,209		

103,440

【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	講師謝礼	¥ 30,000	¥ 20,000	¥ 10,000	
	チラシ作成・レポートの印刷	¥ 25,000	¥ 28,400	¥ -3,400	
	会場使用料	¥ 5,000	¥ 2,467	¥ 2,533	
	バス借上げ	¥ 25,000	¥ 25,000		
	通信費	¥ 4,000	¥ 2,400		
	一般参加者飲食費		¥ 3,077		
	対象となる経費合計額 (d)	¥ 89,000	¥ 81,344	¥ 7,656	
その他経費	バス借上げ補充	¥ 25,000	¥ 15,000		
	スタッフ飲食費用	¥ 7,000	¥ -	¥ 7,000	
	スタッフ交通費	¥ 3,000	¥ 6,943		
	雑費		¥ 210	¥ -210	
	その他経費合計額 (e)	¥ 35,000	¥ 22,153	¥ 12,847	
	事業費 (f) (d + e)	¥ 124,000	¥ 103,497	¥ 20,503	

【助成金額 (b) チェック項目】

- 1 対象となる経費 (d) 欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	6,891
-----	---	-------

団体名 景観色彩を考える会・まつど
代表者氏名 高山 勉



収支内訳書

【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
年度会費収入より繰り入れ	¥ 6,000		
イベント一般参加者会費	¥ 18,000	1000×18名	
自己資金	¥ 6,288		
自己資金合計額	¥ 30,288		
市助成金額	¥ 73,209		
収入合計額	¥ 103,497		

【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
助成金の交付対象経費	1 広報チラシの印本費	¥ 28,400	7/17用チラシ他 7/17用案内チラシ1,000部+まどめのレポート=18,500円 12/17用チラシ+レポート=9,900円	
	2 講師謝礼金	¥ 20,000	20,000円×1回	講師名 花見保次氏
	3 会場使用料	¥ 2,467	630×2回 1207×1回	市民会館 市民劇場
	4 バス借上げ	¥ 25,000	7/17 マイクロバス1台	(株)宮園福祉より借上 バスツアーに使用
	5 通信費	¥ 2,400	80円切手30枚	参加者への通知等
	6 一般参加者飲食費	¥ 3,077	500mlお茶他 30本	
	対象となる経費合計額	¥ 81,344		
その他の経費	スタッフ交通費	¥ 6,943		下見7回
	雑費	¥ 210		領収書
	バス借上げ補充	¥ 15,000		40,000-25,000
	その他経費合計額	¥ 22,153		
支出合計額	¥ 103,497			

第 5 号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成 22 年 11 月 29 日

松戸市長 本郷谷 健次 様

住所(所在地)松戸市新松戸 4-257-1

ニューホームズ 第一マンション 1 階

団体名 特定非営利活動法人

子どもの環境を守る会 J ワールド

代表者氏名 理事長 三浦輝江



平成 22 年 4 月 1 日付け松市市協第 392 号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第 11 条第 1 項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙 1
- 領収書等 . . . 別紙 2

活動状況報告書

1. 事業名称 Jキッズ子どもまつり

2. 実施主体

■ 団体名: 特定非営利活動法人子どもの環境を守る会 Jワールド

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

Jキッズ子どもまつりの実施

日付	作業内容
3月15日～6月25日	事業企画打ち合わせ
4月24日～6月5日	チラシの企画及び作成
4月15日～6月2日	のぼり旗作成
4月17～6月26日	子どもたちによるゲーム、模擬店の企画、準備
5月11日	市の広報掲載依頼 (6月15日号)
5月26日	車椅子貸出依頼 (新松戸社会福祉協議会)
6月21日～7月2日	チラシのPR活動(新松戸南小・西小・馬橋北小・横須賀小 他戸別等)
7月2日	会場セッティング (SRCビル)/車椅子・綿菓子器レンタル
7月3日	子どもまつり SRCビル 参加者165人 (受益者108人) スタッフ 9人 ボランティア21人
7月3日	子どもまつり ふりかえり

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

目標受益者人数100名→達成。

3世代交流の場として提供→参加者、ボランティアを含め、乳幼児から高齢者まで参加出来た。

地域企業や商店街へのアピール→ 地域企業ではなかったが、地域の小学校4校へアピールが出来た。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

宣伝・普及が十分でないという課題に関して、馬橋北小、新松戸南小、横須賀小、新松戸西小にチラシ配布が出来た。

参加者100名は達成出来たが、登録者増加にはつながらなかった。

5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

町内会や地域の方の協力を得て、この事業を広く知っていただきたい。

地域の子ども会的な役割を担い、3世代交流の活発化に貢献したい。

登録者増加のために、通常のJキッズの活動に子どもまつりに来た子ども達をつなげる努力をする。

収支決算書

【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者		¥ 10,000	¥ 17,027	¥ 7,027	
				¥ -	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 10,000	¥ 17,027	¥ 7,027	/
市	助成金額 (b)	¥ 90,000	¥ 90,000	¥ -	精算額
	資金合計額 (c) (a+b)	¥ 100,000	¥ 107,027		/

【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 広報チラシの印刷	¥ 30,000	¥ 11,773	¥ 18,227	
	2 会場使用料・機材レンタル料	¥ 11,000	¥ 12,000	¥ -1,000	
	3 宣伝用のぼり旗作成・購入	¥ 25,000	¥ 30,000	¥ -5,000	
	4 保険料	¥ 10,000	¥ 2,000	¥ 8,000	
	5 通信費	¥ 4,000	¥ 7,680	¥ -3,680	
	6 消耗品費	¥ 20,000	¥ 14,582	¥ 5,418	
	7 まかない材料費	¥ -	¥ 22,067	¥ -22,067	
		対象となる経費合計額 (d)	¥ 100,000	¥ 100,102	¥ -102
その他経費	ボランティア用ユニフォーム代	¥ -	¥ 6,925	¥ -6,925	/
	その他経費合計額 (e)	¥ -	¥ 6,925	¥ -6,925	/
	事業費 (f) (d+e)	¥ 100,000	¥ 107,027	¥ -7,027	/

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内 ✓
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。 ✓
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額 ¥ 0 -

団体名 特定非営利活動法人
 子どもの環境を守る会Jワールド
 代表者氏名 理事長 三浦輝江



収支内訳書

【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
	¥ 17,027	/	会員会費
自己資金合計額	¥ 17,027	/	
市助成金額	¥ 90,000	/	
収入合計額	¥ 107,027	/	

【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
助成金の交付対象経費	1 広報チラシの印刷	¥ 11,773	/ 3,000部*3円 その他コピー・印刷費	チラシ3000枚 案内用ポスター 模擬店・ゲームコーナー用コピー・印刷費
	2 会場使用料・機材レンタル費	¥ 12,000	/	7/3子どもまつり会場・機材等使用料
	3 宣伝用のほり旗作成・購入	¥ 30,000	/ 15,000×2枚	
	4 保険料	¥ 2,000	/ 100名×20円	レクリエーション保険
	5 通信費	¥ 7,680	/ 80円×96通	
	6 消耗品費	¥ 14,582	/	ゲーム材料費・事務用品
	7 まかない材料費	¥ 22,067	/	模擬店食材料費
対象となる経費合計額	¥ 100,102	/		
その他経費	ボランティア用ユニフォーム	¥ 6,925	/ 5枚×1,385円	
	その他経費合計額	¥ 6,925	/	
支出合計額	¥ 107,027	/		

第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成23年1月25日

松戸市長

住所(所在地)

団体名

代表者氏名

特定非営利活動法人さわやか福祉の会
松戸くらしの助っ人
〒270-0034 千葉県松戸市新松戸3-28
電話・FAX 047(340)3314
代表 松下明



平成22年4月1日付け松市市協第393号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

○ 収支内訳書

・・・別紙1

○ 領収書等

・・・別紙2

活動状況報告書

1. 事業名称

外出困難者と共に風の中へ

2. 実施主体

■ 団体名

NPO 法人 さわやか福祉の会
松戸くらしの助っ人

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

- ・ 2010年7月1（木）運営委員会にて事業企画の打ち合わせを行ない、実施日、場所が決まりました。

実施日 2010年10月14日（木）

場所 東武ワールドスクエア（鬼怒川）

- ・ 2010年8月25（木）研修担当者による下見を行う。旅行業者の行程表にもとづいて所要時間、休憩時間、障害者用トイレの確認を行った。

- ・ 2010年9月2（木）松戸くらしの助っ人広報誌に参加者募集を掲載、9月10日発行しました。同時にコミュニティ誌（ゆうかりタイムス10/5号）に掲載依頼をし、幅広く参加募集いたしました。

- ・ 2010年10月8（金）研修旅行準備（座席表、名札、傷害保険手配等々）

- ・ 2010年10月14日（木）参加者会員26名非会員5名計31名
集合7:30 出発8:00 帰着18:00

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

2010年10月14日(木) 東武ワールドスクエアに参加者31名で実施。

障害者認定6名家車いす使用者3名です。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

参加者に車いす操作習熟の機会とし、車いす1名に協力者6名のチームを作り、常に担当者が付き添いトイレや食事、見学等行動をともにすることによりお互いにコミュニケーションをとりながら意志の疎通がはかられた。

5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

この事業は高齢者、障害者ご本人にのみ楽しむのではなく、毎日介護されている家族の方にも一時的な自由な時間を持ってもらいたいと考えております。

もっともっと新しい会員を増やし、サービスを拡充したいと思います。。

収支決算書

【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	参加費	¥ 105,000	¥ 142,000	¥ 37,000	
	団体より		¥ 21,072	¥ -21,072	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 105,000	¥ 163,072	¥ 58,072	
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	精算額
	資金合計額 (c) (a+b)	¥ 205,000	¥ 263,072		

【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1リフト付き大型バス	¥ 105,000	¥ 115,500	¥ -10,500	
	2高速道路・入園料	¥ 25,000	¥ 64,500	¥ -39,500	
	3通信費	¥ 12,000	¥ 10,310	¥ 1,690	
	4駐車場		¥ 1,200	¥ -1,200	
	対象となる経費合計額 (d)	¥ 142,000	¥ 191,510	¥ -49,510	
その他経費	食事代	¥ 63,000	¥ 46,500	¥ 16,500	
	諸経費		¥ 25,062	¥ -25,062	
		¥ -	¥ -	¥ -	
	その他経費合計額 (e)	¥ 63,000	¥ 71,562	¥ -8,562	
	事業費 (f) (d+e)	¥ 205,000	¥ 263,072	¥ -58,072	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額

¥

-

団体名
代表者氏名

松戸くらしの助
松下 明子



収支内訳書

【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
会費	¥ 142,000	117,000円 25,000円	会員会費 26名*4500円 非会員参加費5名*5,000円
団体より	¥ 21,072		研修費より
自己資金合計額	¥ 163,072		
市助成金額	¥ 100,000		
収入合計額	¥ 263,072		

【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
助成金の交付対象経費	1 なの花交通バス(株)	¥ 115,500	115,500円	
	2 高速道路・入園料	¥ 64,500	20,400円 1,300円*12名 1,500円*19名	高速料金 障害者割引(障害者6名付き添い6名) 一般
	3 通信費	¥ 10,310	60円*159件=9,540円 70円*11円=770円	コアラメール配送料松戸市内 コアラメール配送料その他
	4 駐車料	¥ 1,200		
	対象となる経費合計額	¥ 191,510		
その他経費	食事代	¥ 46,500		昼食代 31名@1,500円
	諸経費	¥ 25,062	14,641円 1,457円 8,964円	下見代 保険料 飲み物他
	その他経費合計額	¥ 71,562		
支出合計額	¥ 263,072			

第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成23年 2月24日

松戸市長

住所(所在地)松戸市中和倉415

団体名 松戸生活やくだちたい

代表者氏名 広瀬 高志



平成22年4月1日付け松市市協第 394号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

活動状況報告書

1. 事業名称
生活に役立つ「暮らしとお金」のセミナーと相談会
2. 実施主体
松戸生活やくだちたい
3. 事業の実施内容
I ちょっとお得な暮らしとお金のセミナーの実施

日付	作業内容
4月11日	年間事業方針・予算打ち合わせで、前年実績を踏まえて今年の目標はセミナーで人を集める。そのため無料セミナー有料相談会の年とした。
4月25日～5月9日	講師決定、広報媒体と個別交渉 実現は1社
5月10日	広報まつど掲載依頼(6月15日号)
6月1日	広報まつど掲載決定でチラシ印刷2000枚依頼
6月11日～20日	松戸・新松戸地区 Posting1800枚 広報まつど掲載(6月15日)
7月3日(土)	講演会 商工会議所 講師5名 参加者12名 評価4.5 相談会 // 相談者 1名

II ちょっとお得な暮らしとお金のセミナー2の実施

日付	作業内容
8月8日	第一回の反省と第二回の方針・予算の打ち合わせ 広報活動拡大策
8月22日	講師決定、地域新聞有料広告交渉、メディア・リピータ通知等
9月2日	市民センター17ヶ所と市役所掲示依頼400枚
9月6日	広報まつど報掲載依頼(10月15日号) チラシ印刷2000枚依頼
9月14日	日経新聞、コアラネット等14社へ開催通知 →1名参加申込あり
10月11日～20日	松戸・新松戸地区 Posting1800枚 すまいる情報・地域新聞掲載
10月24日(日)	講演会 市民劇場 講師5名 参加者36名 評価4.3 相談会 // 相談者 2名

III 11月9日(日) 2:00～3:30 やよい会 出前講座 「高齢者の暮らしとお金」

IV ちょっとお得な暮らしとお金のセミナー3の実施

日付	作業内容
11月7日	第二回の反省と第三回の方針・予算の打ち合わせ 地域新聞等の無料広告の利用 リピータ参加mailとweb活用
11月21日	講師決定、地域新聞他へ無料広告交渉、Web申込採用
12月6日	広報まつど掲載依頼(1月15日号)、チラシ印刷依頼3000枚
12月22日～1月15日	市民センター等46ヶ所掲示依頼1000枚 松戸/新松戸 Posting2000枚 朝日まつど・地域新聞掲載 前回参加者へmail/郵便で参加の依頼
1月22日(土)	講演会 市民劇場 講師5名 参加者55名 評価4.4 相談会 // 相談者 4名

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について ※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのか。

- 1) セミナー・相談会は60人→110人 広報活動を幅広く展開することで目標は達成しました。
“やよい会”からの依頼で出前講座「高齢者の暮らしとお金」を40名の参加で行いました。
- 2) 支出は当初244千円に対して、自からの足でポスティングするなど131千円でした。
- 3) 参加者は、市内96名 市外14名 男43人 女67人
年齢：20代～70代 平均58才 居住地：市内全域 で幅広く参加いただきました。
- 4) 評価 4. 4 ※評価計算 (5:大変参考になった 4:参考になった 2:あまり参考にならなかった 1:参考にならなかった)
- 5) この中で、相談会は 相続6名、保険1名 でした。h23年度の課題です。
→以下のアンケート回答から判断すると、自己解決能力の向上に役立っていると思います。

・自分がいかに勉強不十分か認識した。	50代 女性
・投資信託 今回のセミナーで目からウロコでした。	64才 男性
・生命保険 よく理解できました。自信を持って選択出来そうです。	40代 女性
・父の相続で困っていました。話を聞いて少し不安が無くなりました。	30代 女性
・贈与と相続の違いが始めて分かりました	62才 男性
・息子にどんな保険がいいのか知りませんでした	60代 女性
→次回への要望	
・65才以上で生活する上で市役所利用の仕方	不明
・介護福祉部内の簡単なセミナー	40代 女性
・主婦の働き方	40代 女性
・転職の仕方、海外永住・海外就業	30代 男性
・賢い株式投資	50代 男性
・相続 遺産分割について	60代 男性

(2) 事業課題の解決について ※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのか。

生活設計の三大要素は、「生きがい」「健康」「経済(家計)」と言われていますが、この「経済(家計) = 暮らしとお金」について、中立的な立場からの啓発講座や安心して相談できる相談会が非常に少ない現状にあります。

→啓発講座と相談会の場を3回提供できた。リピーターが12名いることで認知度もあがりつつあると思います。

次回テーマはアンケート結果で設定している。

セミナーの開催については習熟度を上げて来ている。

「生活設計・金融・不動産・税金・保険・相続/事業継承」などについての幅広い知識と経験を持つ、松戸在住・勤務のFP(ファイナンシャル・プランナー)で構成されており、中立的な立場から活動できると考えています。

→セミナー・相談会で特定の商品を進めることはなく中立的な立場を確保している。

5. 今後の事業展開 ※この事業について、今後どのように展開したいのか。

h22の助成制度利用で、活動するためのやり方・進め方を身につけ

→助成期間終了後は、集客方法・会場予約方法等が変わるだけでなく関連費用が上がる想定で、

h23年度はいかに削減するかを考えながら事業展開を進める。

→そのなかで相談しやすい条件・環境を見極め、相談者を増やすことを重点課題とする。

市民から期待される「お金の暮らし」の中立的なセミナーと相談の窓口になっていきたい。

行政や民間団体が行う各種啓発事業に出前講座・講師派遣で連携を行う

将来的には、「ワンストップ」機能を持つ総合相談窓口、住みよい街づくりを目指す

→セミナー・相談事業をさらに安全で信頼できる、確かな事業として確立する。

→出前講座を協働推進課や“やよい会”等と交流を行いながら進めることを考えます。

収支決算書

【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
松戸生活やくだちたい	参加費（セミナーと相談会）	¥ 120,000	¥ 7,000	¥ -113,000	セミナー無料化
	寄付金	¥ 24,000	¥ 23,746	¥ -254	
	自己資金合計額（a）	¥ 144,000	¥ 30,746	¥ -113,254	
市	助成金額（b）	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	精算額
	資金合計額（c）（a+b）	¥ 244,000	¥ 130,746		

【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 広報チラシ印刷	¥ 48,000	¥ 42,980	¥ 5,020	
	2 広報チラシ配布	¥ 75,000	¥ -	¥ 75,000	配布業者使わず
	3 広告	¥ 60,000	¥ 30,709	¥ 29,291	
	4 会場費	¥ 16,200	¥ 15,400	¥ 800	
	5 講師代・資料代	¥ 37,500	¥ 35,000	¥ 2,500	講師謝礼1名辞退
	6 通信費・予備費	¥ 4,300	¥ 630	¥ 3,670	
	対象となる経費合計額（d）	¥ 241,000	¥ 124,719	¥ 116,281	
その他経費	セミナー事前打合せ会議室費用	¥ -	¥ 6,027	¥ -6,027	
		¥ -	¥ -	¥ -	
		¥ -	¥ -	¥ -	
	その他経費合計額（e）	¥ 3,000	¥ 6,027	¥ -3,027	
	事業費（f）（d+e）	¥ 244,000	¥ 130,746	¥ 113,254	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額

¥

-

団体名
代表者氏名

松戸生活やくだちたい
広瀬 高志



収支内訳書

【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
参加費(セミナーと相談会)	¥ 7,000	1回目1000円、 2回目2000円、 3回目4000円	セミナーに併設の相談会収入、 1人1時間千円
寄付金	¥ 23,746		
自己資金合計額	¥ 30,746		
市助成金額	¥ 100,000		
収入合計額	¥ 130,746		

【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
助成金の交付対象経費	1 広報チラシ印刷	¥ 42,980	1回目13,320円、 2回目13,320円、 3回目16,340円	1、2回目チラシ各2000枚、3回目チラシ3000枚
	2 広報チラシ配布	¥ -		業者を予定していたが、自ら配布する
	3 広告	¥ 30,709	切手代6,000円 領収書4枚 封筒代630円 領収書2枚 用紙代1,894円 領収書2枚 インク代5,560円 領収書2枚 コピー代200円 領収書1枚 地域新聞掲載15,225円、 すまいる紙1,200円/3回	切手代、封筒代、用紙代、インク代、コピー代はリピータ、メディアへの案内送付のため
	4 会場費	¥ 15,400	商工会議所15,400円、	当初市民劇場予定していたが、1回目は予約できず、商工会議所となった
	5 講師代・資料代	¥ 35,000	1回目12,500円、 2回目10,000円、 3回目12,500円	2回目のチラシ講師謝礼金は1名辞退
	6 通信費・予備費	¥ 630	追加資料コピー代160円、 朱肉470円	
	対象となる経費合計額	¥ 124,719		
その他経費	チラシ事前打合せ会議室費用	¥ 6,027	市民劇場4720円、 市民会館787円、 明ゼンガ520円	
	その他経費合計額	¥ 6,027		
支出合計額	¥ 130,746			

第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成23年3月18日

松戸市長 殿

住所（所在地） 松戸市三矢小台2-11-18
申請者 団体の名称 松戸手作り甲冑愛好会
代表者氏名 会長 高橋 貴美子



平成22年4月1日付け松戸市指令第395号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 ----- 別紙1
- 領収書等 ----- 別紙2

活動状況報告書

1. 事業名称 手作り甲冑普及事業
2. 実施主体
団体名 松戸手作り甲冑愛好会
3. 事業の実施内容

I 手作り甲冑講習会の実施

日付	作業内容
4月7日～9月30日	講習会実施（延べ20回開催） ※完成した甲冑を着用して松戸まつり甲冑武者行列、ウーンピアノ四重奏団に参加
4月19日・5月1日	講習会打ち合わせと技術習得のため館山へ

II 各種イベントへの参加

(1) 松戸まつりへの「甲冑武者行列」の参加

- ・日時 10月3日
- ・参加人員 武者行列 32名 スタッフ 10名

(2) 徳川昭武没後百年 戸定スペシャルアートプロジェクト2010 (ウーンピアノ四重奏団) への甲冑武者の参加

- ・日時 10月22日
- ・参加人員 甲冑武者 7名 スタッフ 3名

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

当会は、手作り甲冑の普及を図るとともに松戸市の観光の役に立つことを目的として活動してきたところであるが、手作り甲冑の普及に関しては今年度の新たな受講者5人と昨年から引き続きの2名を併せて7人の受講生に対し講習会を実施し、手作り甲冑の素晴らしさを実感してもらうことが出来た。また、松戸市の観光に役立つ活動としては、事業の実施内容に記載したとおり完成した甲冑を着用して松戸まつりへ甲冑武者行列として参加したほか、戸定が丘歴史公園内の戸定邸で催されたウーンピアノ四重奏団へ甲冑武者として参加するなどの活動により、多くの人に楽しんでもらったと同時にそれなりの評価も頂くことができ、松戸市の観光にも寄与できたと考えている。

(2) 事業課題の解決について

(1) に記載したとおり、一定の成果はあったと考えているが、受講生数が予定した人数に満たなかったことなどにより、松戸まつりの甲冑武者行列では32名の甲冑武者のうち20名分は館山から借用したもので参加せざるを得なかった。

今後とも各種のイベントに参加していくためにはできるだけ早く自前の甲冑領数を増やすことが不可欠であるが、この点については今年度は十分ではなかった。

(3) 今後の事業展開

会が発足した事実上の初年度である平成22年度については、試行錯誤をしながらの運営であったが、今後とも指導者養成に努め、さらに多くの人に講習会に参加してもらえるようにしていきたいと考えている。

また、イベント等に参加するためには動員できる会所有の甲冑を増やすことが必要であるため、平成23年度の松戸市市民活動助成金についても事業提案したところであるが、残念ながら採択してもらえなかった。

このため、これに代わる資金を得るための方策について苦慮しているところである。

収支決算額

【収入】

	項 目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	会員年会費	¥ 24,000	¥ 12,000	¥ -12,000	
	受講生受講料	¥ 56,000	¥ 31,000	¥ -25,000	
	松戸まつり参加収入	¥ -	¥ 125,800	¥ 125,800	参加助成金103,000 参加料等22,800
	収支不足分役員立替金	¥ -	¥ 61,157	¥ 61,157	
	自己資金合計額(a)	¥ 80,000	¥ 229,957	¥ 149,957	
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	精算額
	資金合計額(c) (a+b)	¥ 180,000	¥ 329,957	¥ 149,957	

【支出】

	項 目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	講師謝礼金	¥ 160,000	¥ 160,000	¥ -	
	講習会材料費(愛好会持分)	¥ 15,000	¥ 6,088	¥ 8,912	甲冑材料の一部
	松戸まつり参加費用	¥ -	¥ 91,470	¥ -91,470	
	甲冑借用料	¥ -	¥ 50,000	¥ -50,000	
	衣装代	¥ -	¥ 36,850	¥ -36,850	
	雨具代	¥ -	¥ 4,620	¥ -4,620	
		対象となる経費合計額(d)	¥ 175,000	¥ 257,558	¥ -82,558
その他経費	愛好会消耗品	¥ 5,000	¥ 6,500	¥ -1,500	
	松戸まつり参加費用	¥ -	¥ 65,899	¥ -65,899	
	甲冑借用諸経費	¥ -	¥ 27,853	¥ -65,899	高速道路料金 燃料代 手土産代
	道具購入費	¥ -	¥ 14,000	¥ -14,000	わらじ代
	参加者賄い料	¥ -	¥ 10,846	¥ -10,846	弁当 お茶
	その他雑費	¥ -	¥ 13,200	¥ -65,899	駐車場代 玉串料 写真代
	その他経費合計額(e)	¥ 5,000	¥ 72,399	¥ -67,399	
	事業費(f) (d+e)	¥ 180,000	¥ 329,957	¥ -149,957	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額

¥0

団体名 松戸手作り甲冑愛好会
代表者氏名 会長 高橋 貴美子



収支内訳書

【収入】

項 目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
愛好会会員年会費	¥ 12,000		5人×2,400
受講生受講料	¥ 31,000		5人×5,000 2人×3,000
松戸まつり参加収入	¥ 125,800	参加助成金 103,000 参加料 13,000 わらじ代 9,800	大人1,000×6人 小人500×14人 700円×14足
収支不足分役員立替金	¥ 61,157		
自己資金合計額	¥ 229,957		
市助成金	¥ 100,000		
収入額合計	¥ 329,957		

【支出】

項 目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
助成金の交付対象経費	1講師謝礼金	¥ 160,000	4/7 100,000 7/14 60,000	講師 南総里見手作り甲冑愛好会 代表 山口幸夫
	2愛好会持材料費	¥ 6,088		木工用ボンド他
	3松戸まつり参加費用	¥ 91,470		
	甲冑借用料	¥ 50,000	10/4 50,000	南総里見手作り甲冑愛好会 代表 山口幸夫
その他	衣装代	¥ 36,850	Tシャツ 21,850 甲冑小道具 15,000	
	雨具代	¥ 4,620	ビニールカッパ	
	対象となる経費合計額	¥ 257,558		
	愛好会消耗品	¥ 6,500		コピー用紙その他
その他	松戸まつり参加費用	¥ 65,899		
	甲冑借用諸経費	¥ 27,853	高速道路料料金 16,500 燃料代 7,853 手土産代 3,500	借用時2台 返却時1台
	道具購入費	¥ 14,000	わらじ 14,000	700円×20足
	参加者賄い料	¥ 10,846	弁当9,350 お茶1,496	
	その他雑費	¥ 13,200	駐車場代 3,200 玉串料 5,000 写真代 5,000	1,600円×2台
	その他経費合計額	¥ 72,399		
支出合計額	¥ 329,957			

第5号様式




松戸市市民活動実績報告書

平成23年3月 日

松戸市長

住所(所在地) 松戸市五香南3-17-11

団体名 松戸市政モニター0B「花草会」

代表者氏名 村田 富子 

平成22年4月1日付け松市市協第 号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

活動状況報告書

1. 事業名称 「もったいないツアー」

2. 実施主体

■ 団体名： 松戸市政モニターOB「花草会」

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I もったいない講演会の実施

日付	作業内容
4月28日～7月4日	事業企画打ち合わせ
5月18日～6月3日	チラシの企画及び作成
6月3日	チラシの印刷
6月1日	市の広報掲載依頼（7月1日号）
6月3日～7月15日	講演会のPR活動
6月5日～7月7日	講演会打ち合わせ及び準備
7月20日	講演会の実施：ゆうまつど、 講師：戸田栄造氏他 参加者 52人

II もったいないツアー（工場見学）の実施

日付	作業内容
7月20日～9月21日	工場見学企画打ち合わせ
7月25日～7月31日	チラシの企画及び作成
8月11日	チラシの印刷
8月10日	市の広報掲載依頼（9月15日号）
7月20日～9月30日	講座準備
10月6日	工場見学の実施：石井食品(株)（八千代工場） 参加者 22人
10月19日	講演会と工場見学の総括役員会

III もったいない講習会の実施

日付	作業内容
11月9日～11月30日	講習会企画打ち合わせ
12月1日～12月17日	チラシの企画及び作成
1月19日	チラシの印刷
1月28日	市の広報掲載依頼（2月15日号）
12月21日～2月15日	講習会準備
3月13日	東北関東大震災のため講習会の中止を決定、3月14日関係者に連絡
3月15日	<講習会は中止>： 参加者予定者 27名（外部：11名、花草会関係者：16名）＋（友人）

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

我々の当初の事業目的は、以下の通りである。

- ①「もったいない運動」を理念や考え方に留めるのではなく、実行可能な活動として展開する
- ②「もったいないツアー」に多くの市民が参加することで、見学から実活動を学んでもらう
- ③「もったいないツアー」で学んだことを自分自身で行動してもらう
- ④「もったいない」=3R(リサイクル、リユース、リデュース)を徹底する

この結果、「もったいない講演会」で身近な生活環境での実践例の話を聴き、多くの方が理念から実行可能なことが沢山あることを学び、①の目的は達成された。

次に、②の見学会の実施は、石井食品(株)(八千代工場)に行き、実際に企業(工場)でのもったいないの実践現場を見てきた。食品素材の保管から製造加工、梱包に至る安全管理とムダの排除、その過程で出来るゴミの再処理等、環境保全に関する「もったいない」を学んできた。場所の関係でバス利用だったので限られた参加者であったが、見学会は大好評であった。③の目的を達成させるための「もったいない講習会」は、日常生活から何が出来るかを体験してもらうものである。

然しながら、3月11日に発生した東北関東大震災のため中止せざるを得ない状況となった。参加者や関係者の身の安全を確保する意味で致し方ない決定と思っている。

参加予定者に中止を伝えたが、こうした企画を再度実施してもらいたいとの意見も頂いた。

以上から、今回の事業の目的は全て達成されたと確信している。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

当事業の課題は、「もったいない運動」を理念・考え方だけに終わらせないで、実際の活動を定着させることである。

今回の事業実施で、「もったいない」がある程度、実践可能なヒントとして身に付けたと考えられるが、継続的に、更に多くの市民の方々に定着させるには、もう少し時間が必要と思われる。

更に、実行団体が限られている現状を考えて、もって多くの団体と連携して活動する必要性を痛感した。

今後「もったいない運動」は、継続的に多くの団体、市民を巻き込んだ地道な活動が望まれる。

5. 今後の事業展開

今回の事業の実施で「もったいない運動」の実践的活動が出来たが、まだまだ松戸市民の多くの人を巻き込んだ活動にはなっていない。

今後、こうした活動を繰り返し実施することで、定着するものと思われる。

その意味で、今回のような活動(具体的な「もったいないの実践」)を展開する必要がある。更に、機会があったら他団体と協働で実施したい。

収支決算書

【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	会費収入	¥ 69,000	¥ 68,000	¥ -1,000	
	参加費収入	¥ -	¥ 17,600	¥ 17,600	
	寄付金		¥ 6,001	¥ 6,001	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 69,000	¥ 91,601	¥ 22,601	/
市	助成金額 (b)	¥ 99,000	¥ 75,784	¥ 23,216	/ 精算額
	資金合計額 (c) (a+b)	¥ 168,000	¥ 167,385	/	/

【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の 交付対象経費	1 広報チラシの印本費	¥ 70,000	¥ 43,975	¥ 26,025	
	2 講演会謝礼金	¥ 20,000	¥ 10,000	¥ 10,000	
	3 マイクロバス使用料	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ -	
	4 保険料		¥ 6,600	¥ -6,600	
	5 通信費		¥ 3,630	¥ -3,630	
		対象となる経費合計額 (d)	¥ 110,000	¥ 84,205	¥ 25,795
その他経費	スタッフ交通費	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ -	
	マイクロバス使用料 (補充)	¥ 20,000	¥ 6,000	¥ 14,000	
	スタッフ事業活動報酬他	¥ 18,000	¥ 18,000	¥ -	
	花草会活動費		¥ 39,180	¥ -39,180	
	その他経費合計額 (e)	¥ 58,000	¥ 83,180	¥ -25,180	/
	事業費 (f) (d+e)	¥ 168,000	¥ 167,385	¥ 615	/

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費 (d) 欄の90%以内 /
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	23,216
-----	---	--------

団体名 松戸市政モニターOB「花草会」
 代表者氏名 村田 富子



収支内訳書

【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
会費収入	¥ 68,000		会員会費(34名×2,000円)
参加費	¥ 17,600		参加費(22名×800円)
寄付金	¥ 6,001		工場見学者からの寄付
自己資金合計額	¥ 91,601		
市助成金額	¥ 75,784		
収入合計額	¥ 167,385		

【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	1 広報チラシの印本費	¥ 43,975 / 1,000部×13.8円 1,000部×30.2円	もったいない講演会実施分(1,000部配布) もったいない講習会実施分(1,000部配布)
	2 講演会謝礼金	¥ 10,000 / 5,000円×1回 5,000円×1回	講師名: 戸田栄造氏、茂木久子氏
	3 マイクロバス使用料	¥ 20,000 / バス代(20,000円)	(株)石井食品 工場見学(千葉県八千代市)
	4 保険料	¥ 6,600 / 保険料(6,600円)	(株)石井食品 工場見学(千葉県八千代市)
	5 通信費	¥ 3,630 / 切手代(3,420円) 封筒代(210円)	講演会、講習会へ案内チラシ郵送
	対象となる経費合計額	¥ 84,205 /	
その他経費	スタッフ交通費	¥ 20,000 1,000円×4名×5回	
	マイクロバス使用料(補充)	¥ 6,000 バス代(6,000円)	予算減額による(付帯意見)
	スタッフ事業活動報酬他	¥ 18,000 500円×3時間×4名 ×3回	
	花草会活動費	¥ 39,180 会報発行費、郵便費、通信費他	
	その他経費合計額	¥ 83,180	
支出合計額	¥ 167,385		